

## 調査概要

---

### 1. 調査目的

市職員の「男女共同参画社会」に対する意識を把握し、第3期計画策定に係る基礎資料とする。

### 2. 調査項目

- (1) 属性などについて
- (2) 社会における男女のあり方などについて
- (3) 職場における男女の役割などについて

### 3. 調査対象

市職員 1,011 名

### 4. 調査方法

直接配布による配布・回収

### 5. 調査期間

令和3年6月30日～令和3年7月16日

### 6. 回収結果

有効回収数 590 件（有効回収率 58.4%）

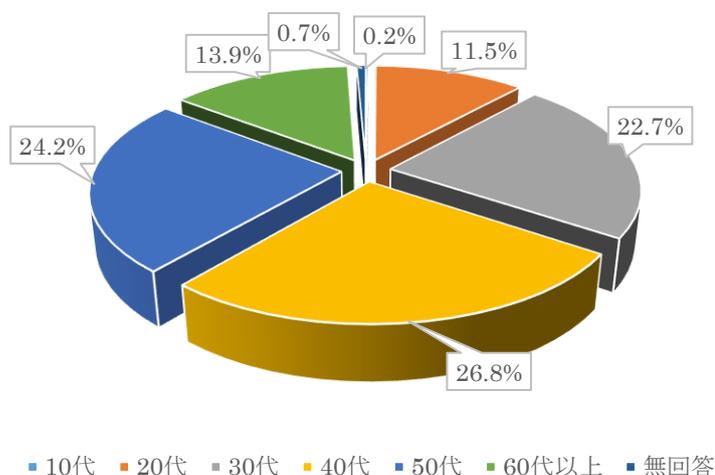
### 7. 報告書の見方

- 図表における数値の表記は、小数点以下第2位で四捨五入しているため、各回答の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問では、回答者数に対する比率を示しているため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- 帯グラフでは、回答比率が0.0の場合、数値の表示を省略している。

1. 属性などについて

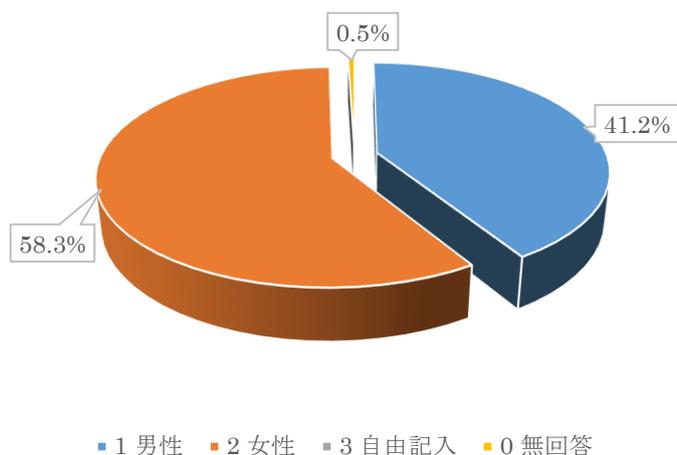
Q1 あなたの年齢

選択項目	回答数	割合
00 10代	1	0.2%
1 20～24歳	23	3.9%
2 25～29歳	45	7.6%
3 30～34歳	72	12.2%
4 35～39歳	62	10.5%
5 40～44歳	70	11.9%
6 45～49歳	88	14.9%
7 50～54歳	81	13.7%
8 55～59歳	62	10.5%
9 60～64歳	38	6.4%
10 65歳以上	44	7.5%
0 無回答	4	0.7%
計	590	100.0%



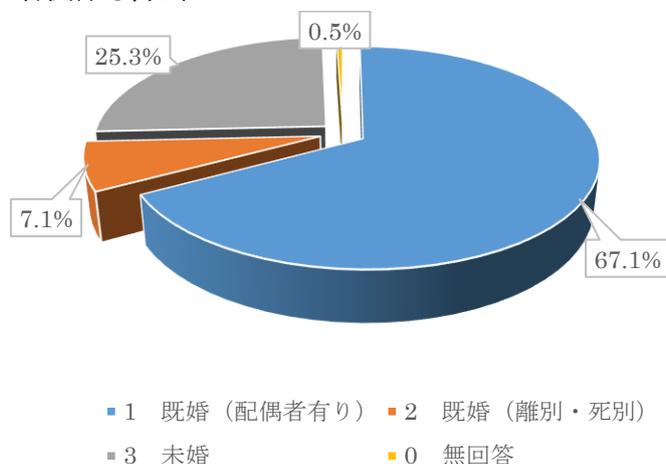
Q2 あなたの性別

選択項目	回答数	割合
1 男性	243	41.2%
2 女性	344	58.3%
3 自由記入	0	0.0%
0 無回答	3	0.5%
計	590	100.0%



Q3 あなたは結婚されていますか（事実婚・内縁関係も含む）

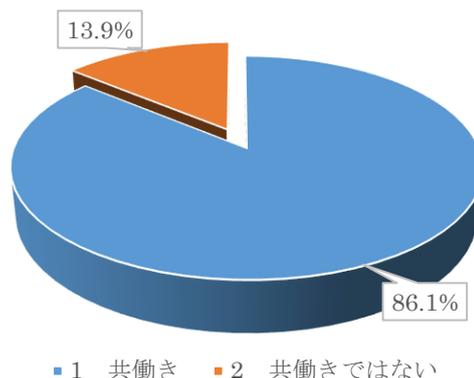
選択項目	回答数	割合
1 既婚（配偶者有り）	396	67.1%
2 既婚（離別・死別）	42	7.1%
3 未婚	149	25.3%
0 無回答	3	0.5%
計	590	100.0%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

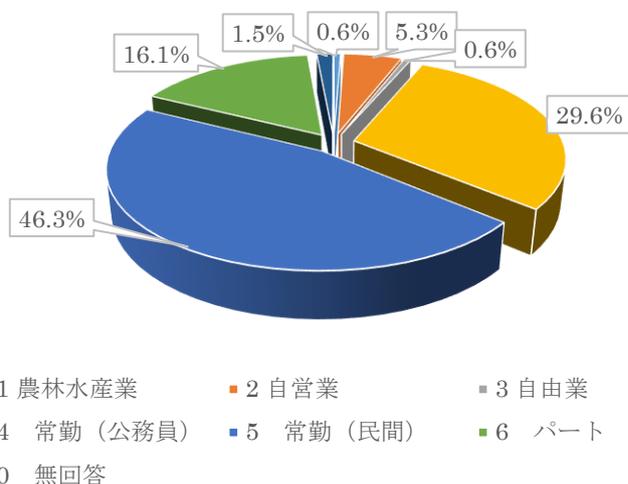
Q3-1 Q3で1と回答した方：現在ご夫婦とも働いていますか。

選択項目	回答数	割合
1 共働き	341	86.1%
2 共働きではない	55	13.9%
0 無回答	0	0.0%
計	396	100.0%



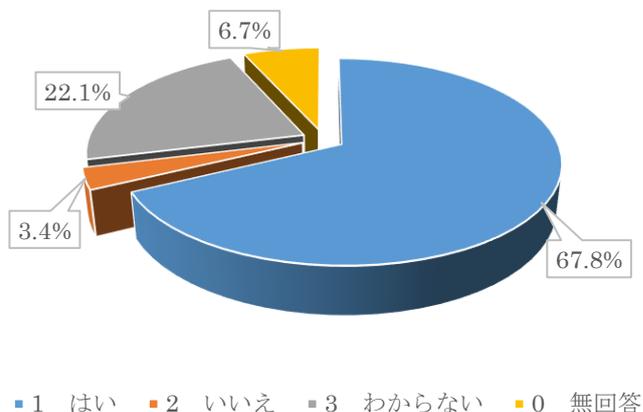
Q3-2 Q3で1と回答した方：あなたの配偶者の就業状況はどれにあたりますか。

選択項目	回答数	割合
1 農林水産業	2	0.6%
2 自営業	18	5.3%
3 自由業	2	0.6%
4 常勤（公務員）	101	29.6%
5 常勤（民間）	158	46.3%
6 パート	55	16.1%
7 学生	0	0.0%
8 専業主婦	0	0.0%
9 その他（無職）	0	0.0%
0 無回答	5	1.5%
計	341	100.0%



Q3-3 Q3で3と回答した方：結婚しても仕事を続けたいですか。

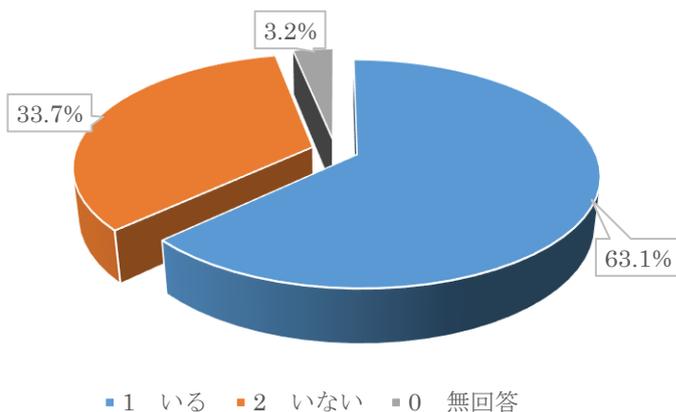
選択項目	回答数	割合
1 はい	101	67.8%
2 いいえ	5	3.4%
3 わからない	33	22.1%
0 無回答	10	6.7%
計	149	100.0%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

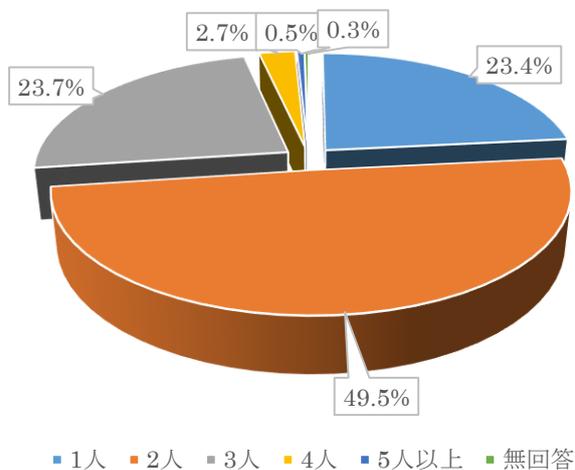
Q4 あなたのお子さんはいらっしゃいますか。

選択項目	回答数	割合
1 いる	372	63.1%
2 いない	199	33.7%
0 無回答	19	3.2%
計	590	100.0%



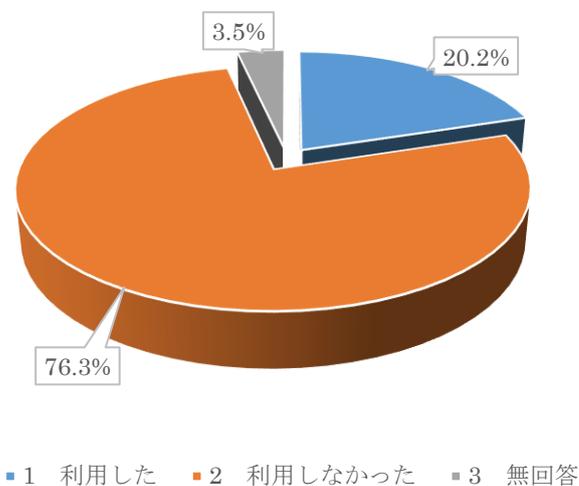
人数

選択項目	回答数	割合
1人	87	23.4%
2人	184	49.5%
3人	88	23.7%
4人	10	2.7%
5人以上	2	0.5%
無回答	1	0.3%
計	372	100.0%



Q4-1 Q4で1と回答した方：育児休業は利用しましたか？

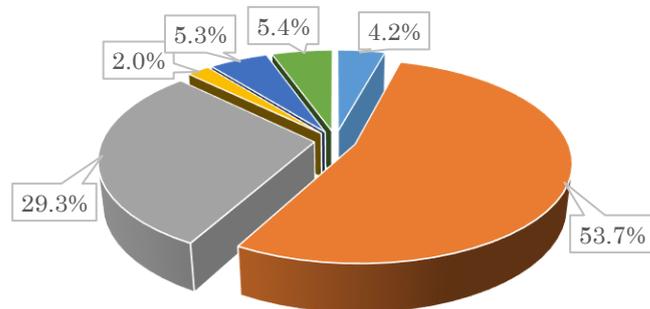
選択項目	回答数	割合
1 利用した	75	20.2%
2 利用しなかった	284	76.3%
3 無回答	13	3.5%
計	372	100.0%



2. 社会における男女のあり方などについて

問1 社会全体における男女の平等について、関心やお考えをお持ちですか。

選択項目	回答数	割合
1 非常に興味を持っている	25	4.2%
2 興味を持っている	317	53.7%
3 あまり興味を持っていない	173	29.3%
4 全く興味がない	12	2.0%
5 わからない	31	5.3%
0 無回答	32	5.4%
計	590	100.0%



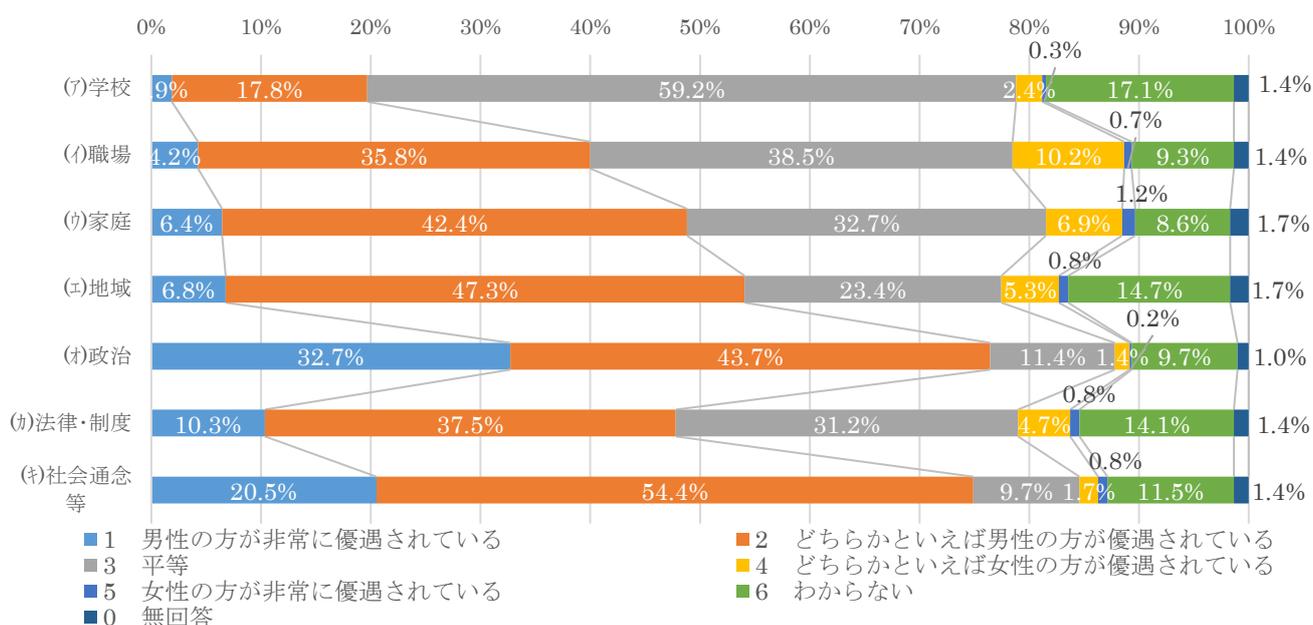
- 1 非常に興味を持っている
- 2 興味を持っている
- 3 あまり興味を持っていない
- 4 全く興味がない
- 5 わからない
- 0 無回答

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問2 次のような(ア)～(カ)の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか

選択項目	(ア)学校教育の場		(イ)職場		(ウ)家庭生活		(エ)地域社会	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 男性の方が非常に優遇されている	11	1.9%	25	4.2%	38	6.4%	40	6.8%
2 どちらかといえば男性の方が優遇されている	105	17.8%	211	35.8%	250	42.4%	279	47.3%
3 平等	349	59.2%	227	38.5%	193	32.7%	138	23.4%
4 どちらかといえば女性の方が優遇されている	14	2.4%	60	10.2%	41	6.9%	31	5.3%
5 女性の方が非常に優遇されている	2	0.3%	4	0.7%	7	1.2%	5	0.8%
6 わからない	101	17.1%	55	9.3%	51	8.6%	87	14.7%
0 無回答	8	1.4%	8	1.4%	10	1.7%	10	1.7%
計	590	100.0%	590	100.0%	590	100.0%	590	100.0%

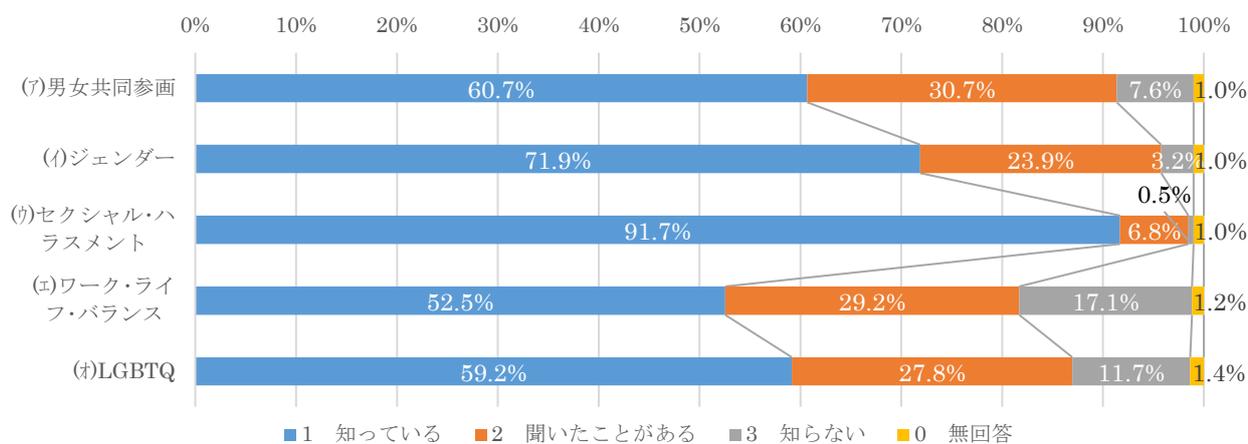
選択項目	(オ)政治の場		(カ)法律・制度上		(キ)社会通念・慣習・しきたり等	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 男性の方が非常に優遇されている	193	32.7%	61	10.3%	121	20.5%
2 どちらかといえば男性の方が優遇されている	258	43.7%	221	37.5%	321	54.4%
3 平等	67	11.4%	184	31.2%	57	9.7%
4 どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.4%	28	4.7%	10	1.7%
5 女性の方が非常に優遇されている	1	0.2%	5	0.8%	5	0.8%
6 わからない	57	9.7%	83	14.1%	68	11.5%
0 無回答	6	1.0%	8	1.4%	8	1.4%
計	590	100.0%	590	100.0%	590	100.0%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問3 次の（ア）～（オ）のすべてについて、言葉をご存知ですか。

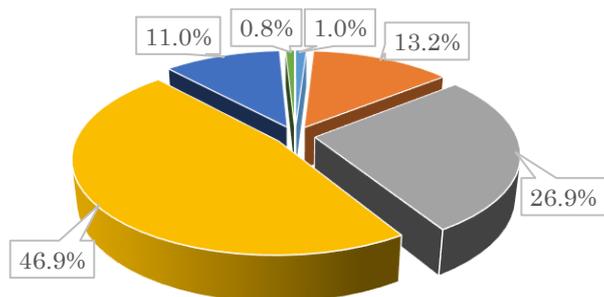
選択項目	（ア）男女共同参画		（イ）ジェンダー		（ウ）セクハラ		（エ）ワーク・ライフ・バランス		（オ）LGBTQ	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 知っている	358	60.7%	424	71.9%	541	91.7%	310	52.5%	349	59.2%
2 聞いたことがある	181	30.7%	141	23.9%	40	6.8%	172	29.2%	164	27.8%
3 知らない	45	7.6%	19	3.2%	3	0.5%	101	17.1%	69	11.7%
0 無回答	6	1.0%	6	1.0%	6	1.0%	7	1.2%	8	1.4%
計	590	100.0%	590	100.0%	590	100.0%	590	100.0%	590	100.0%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。

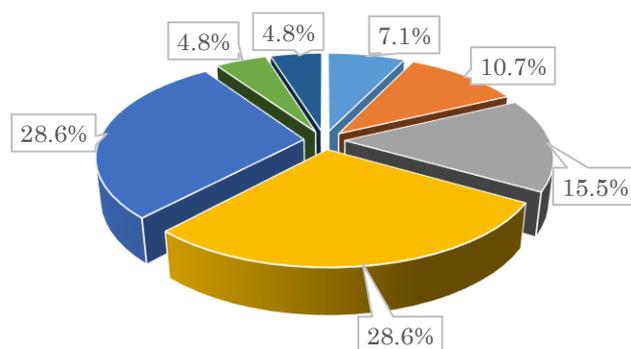
選択項目	回答数	割合
1 同感する	6	1.0%
2 どちらかといえば同感する	78	13.2%
3 どちらかといえば同感しない	159	26.9%
4 同感しない	277	46.9%
5 わからない	65	11.0%
0 無回答	5	0.8%
計	590	100.0%



- 1 同感する
- 2 どちらかといえば同感する
- 3 どちらかといえば同感しない
- 4 同感しない
- 5 わからない
- 0 無回答

問4-1 問4で1又は2と回答した方：そのように思う理由は何ですか。

選択項目	回答数	割合
1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	6	7.1%
2 自分の両親も役割分担していたから	9	10.7%
3 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られるから	13	15.5%
4 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	24	28.6%
5 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	24	28.6%
6 その他	4	4.8%
0 無回答	4	4.8%
計	84	100.0%



- 1 伝統的な家族の在り方
- 2 両親も役割分担していた
- 3 多くの収入を得られる
- 4 子どもの成長などに良い
- 5 両立することは大変
- 6 その他
- 0 無回答

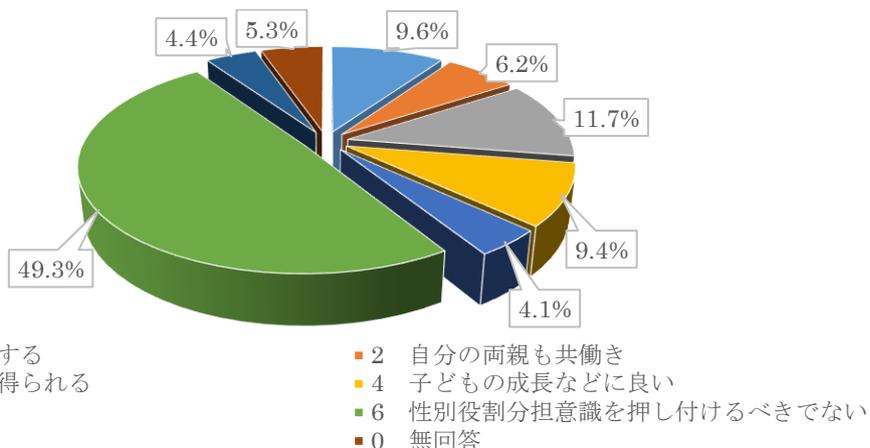
6 その他

- ・ 仕事と家事の両立よりも、各々専任した方が効率が良い。女性にしか出産はできず、女性に家事をと考え方には一部同意してしまう。(40代男性)
- ・ 今の日本社会がそうだから。(40代男性)
- ・ それぞれの適性や役割が違うため。(50代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問4-2 問4で3又は4と回答した方：そのように思う理由は何ですか。

選択項目	回答数	割合
1 男女平等に反すると思うから	42	9.6%
2 自分の両親も曾於で働いていたから	27	6.2%
3 夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られるから	51	11.7%
4 夫も妻も働いて能力を発揮した方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	41	9.4%
5 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	18	4.1%
6 固定的な性別役割分担意識を押し付けるべきではないから	215	49.3%
7 その他	19	4.4%
0 無回答	23	5.3%
計	436	100.0%



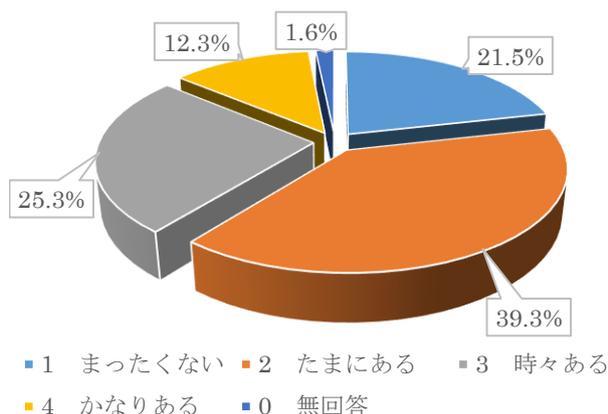
7 その他

- ・ 国内の生産年齢人口が減少している中、両者ともに仕事も家庭も担うべきだから。(50代男性)
- ・ 夫も妻も働いて能力を発揮した方が、社会のためになると思うから。(50代男性)
- ・ 働く楽しさや辛さとどちらの間でも体験した方が、相手を思いやれると思うから (50代女性)
- ・ 年収等の差がまだ存在しているため。(50代男性)
- ・ 既に社会が男性のみが働いて妻子を養う所得ではないから。(20代女性)
- ・ 考え方自体が無意識に浸透している（世の中で）ので、同意すると男女の格差が生じてしまうように感じたから。(20代男性)
- ・ 個人の適性や希望が性別で切り捨てられるべきではない。(20代女性)
- ・ 仕事と家事の適・不適は性別で測れないから。(30代男性)
- ・ 各家庭で選択し、生活することが大切。(60代女性)
- ・ 個人の生き方の問題。自分で選択する内容だと思う。(60代女性)
- ・ お互いに協力し分担すればいい。(40代女性)
- ・ どちらでも選べたらよい。(60代女性)
- ・ ケースバイケースだと思うから。(40代女性)
- ・ 妻が働きたいのならそれを尊重したい。(30代男性)
- ・ 男が家庭・女が仕事でも良いと思うから。(40代男性)
- ・ お互いが自由に選択し、協力するべきだから。(30代男性)
- ・ 男女問わず子どもと関わるべき家庭優先。(40代男性)
- ・ 夫が家事にも育児にも関わらずに家庭での居場所を失うのは不自然だと思うから (30代女性)。
- ・ 主夫してみたい。(30代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

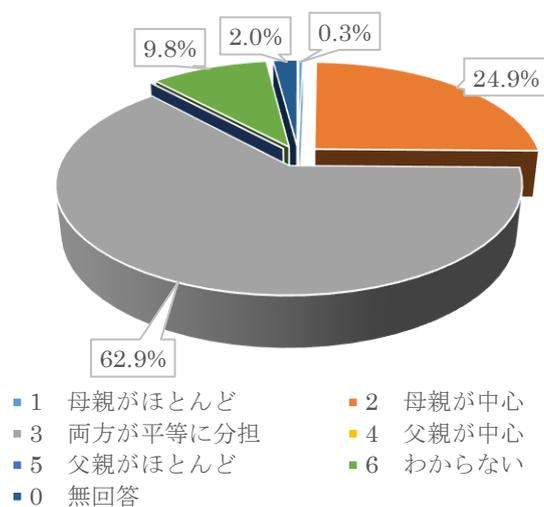
問5 結婚して家庭をもったことで、性別による役割の不公平感を感じたことはありますか。

選択項目	回答数	割合
1 まったくない	94	21.5%
2 たまにある	172	39.3%
3 時々ある	111	25.3%
4 かなりある	54	12.3%
0 無回答	7	1.6%
計	438	100.0%



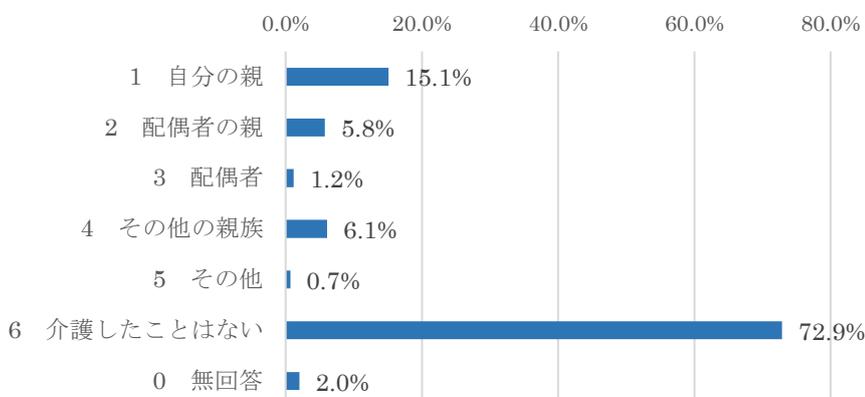
問6 子育ての役割について、あなたはどのように思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 母親がほとんど全てを行うほうがよい	2	0.3%
2 母親が中心になって行い、時には父親も参加するほうがよい	147	24.9%
3 父親と母親の両方が平等に分担して行うほうがよい	371	62.9%
4 父親が中心になって行い、時には母親も参加するほうがよい	0	0.0%
5 父親がほとんど全てを行うほうがよい	0	0.0%
6 わからない	58	9.8%
0 無回答	12	2.0%
計	590	100.0%



問7 あなたは、家族・親族のどなたかの介護をした（している）ことがありますか（たまにはではなく、日常的にした場合のみ）。

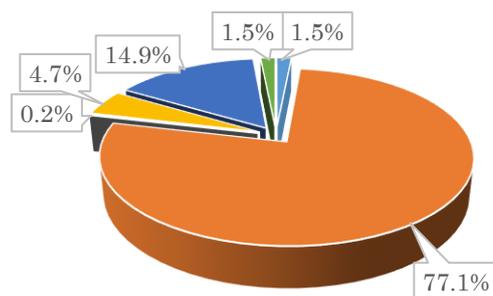
選択項目	回答数	割合
1 自分の親	89	15.1%
2 配偶者の親	34	5.8%
3 配偶者	7	1.2%
4 その他の親族	36	6.1%
5 その他	4	0.7%
6 介護したことはない	430	72.9%
0 無回答	12	2.0%
計	590	100.0%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問8 高齢者を介護する場合（在宅福祉サービス利用の有無に関わらず）、家族内における分担について、あなたはどのように思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 主として女性が受け持つ方がよい	9	1.5%
2 男女が共同して分担する方がよい	455	77.1%
3 主として男性が受け持つ方がよい	1	0.2%
4 その他	28	4.7%
5 わからない	88	14.9%
0 無回答	9	1.5%
計	590	100.0%



■ 1 主として女性 ■ 2 男女が共同 ■ 3 主として男性  
■ 4 その他 ■ 5 わからない ■ 0 無回答

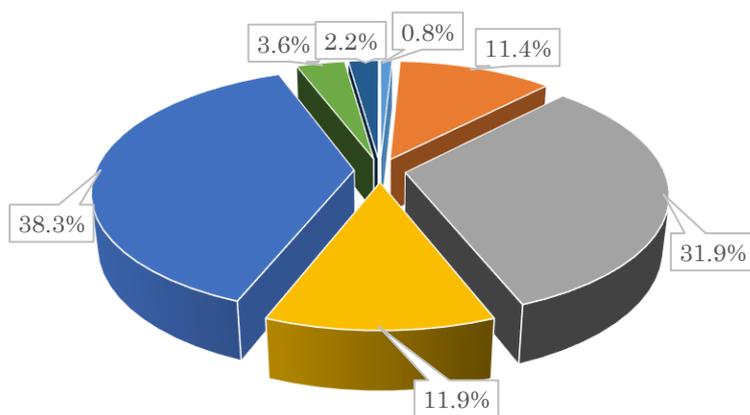
4 その他

- ・ 家庭状況による。(30代女性)
- ・ 状況に応じて分担するのが望ましい。(60代男性)
- ・ 状況に応じて選べたらよい。(60代女性)
- ・ 出来る人がやる・協力する。(30代女性)
- ・ できる者がすべき。男女は関係ない。(30代男性)
- ・ やれる方がやれることをやればよい。(50代女性)
- ・ 性別関わらず事情による。(30代男性)
- ・ 時と場合、各々の環境に依ると思う。(50代女性)
- ・ 向き不向きにあわせて行くとよいと思う。(20代女性)
- ・ 個人の能力・性格に応じて。(50代男性)
- ・ その人の家の事情に寄る為（主な働き手など）一概には言えない。(30代女性)
- ・ 実の子がすべき。(30代女性)
- ・ 実子が主となり介護した方がよい。(40代女性)
- ・ 実子としての責任。(60代男性)
- ・ 主として身内（自分の親等）。(30代女性)
- ・ 自分の親は自分で。(50代男性)
- ・ 自分の親は自分が中心になり、配偶者には協力してもらい、配偶者の親は配偶者が中心になり、自分は協力するという形。(50代女性)
- ・ それぞれの親を責任もって介護にあたる。(50代女性)
- ・ 血族が受け持つ方がよい。(40代女性)
- ・ 男女が共同して分担が良いが、自分（男）はあまりできてない。(60代男性)
- ・ 分担ではなく、両方がやればよい。そもそも分担するから面倒になる。(40代男性)
- ・ 男女は関係ない。(60代男性)
- ・ メンタル面では女性を中心とし、肉体的な面では男性が中心となって行う必要がある。(60代男性)
- ・ 仕事をしていないものがやらざるを得ない状況。(40代男性)
- ・ 介護される人の性別による。(20代女性)
- ・ 足りないところは施設等の利用がいい。家族で頑張らない。(60代女性)
- ・ 家族がすべきという時代ではない。(40代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問9 もしも、あなた自身に介護が必要となった場合、どのようにしたいと思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 自分で家族・親族に介護してもらう	5	0.8%
2 主に自宅で家族・親族に介護をしてもらい、足りないところに在宅福祉サービス（介護保険を含む）を利用する	67	11.4%
3 主に在宅福祉サービス（介護保険を含む）を利用し、自宅で家族に補助的な介護をしてもらう	188	31.9%
4 介護者（家政婦・ホームヘルパー・介護福祉士など）を雇い自宅で過ごす、家族の世話にはならない	70	11.9%
5 施設（老人ホームなど）に入る	226	38.3%
6 その他	21	3.6%
0 無回答	13	2.2%
計	590	100.0%



- 1 自分で家族・親族に介護してもらう
- 2 主に自宅で家族・親族に介護、在宅福祉サービスを利用
- 3 主に在宅福祉サービスを利用、自宅で補助的な介護
- 4 自宅で介護者を雇い過ごす、家族の世話にならない
- 5 施設（老人ホームなど）に入る
- 6 その他
- 0 無回答

6 その他

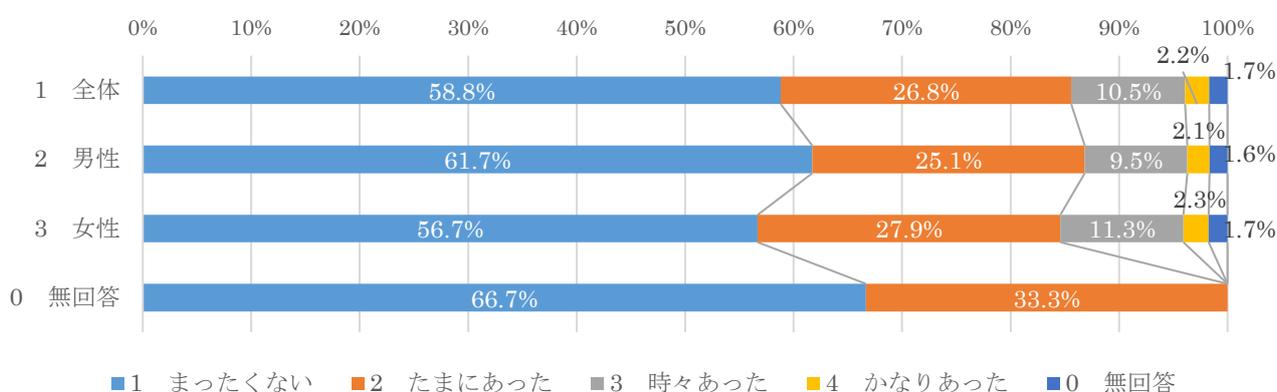
- ・ わからない。(20代男性、40代男性、40代女性、50代男性2名、60代男性)
- ・ 場合や状況によります。(50代女性)
- ・ その時に決める。介護が必要になった時の環境次第。(30代男性)
- ・ 金銭的問題が大きくなるから、ケースバイケースで考える。(40代女性)
- ・ 迷惑をかけない方法を考える。(30代男性)
- ・ 家族の考えに従う。(50代男性)
- ・ 死を受け入れる。他人に迷惑はかけたくない(金も)。(30代男性)
- ・ 介護が必要とされる前にあの世へ…。(20代女性)
- ・ 安楽死。(40代男性)
- ・ 介護を必要とするまで長生きしたいとは思わないし、たとえ必要になったとしても家族・親族に負担をかけたくないの施設に入る。(20代女性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問10 性的発言・行動によって就業環境を害すること（セクハラ）や配偶者・パートナーからの暴力（DV、ドメスティック・バイオレンス）は、法律により禁止されております。あなたは、これまで家庭・職場・地域などで、次の（ア）（イ）のような経験をしたことがありますか。

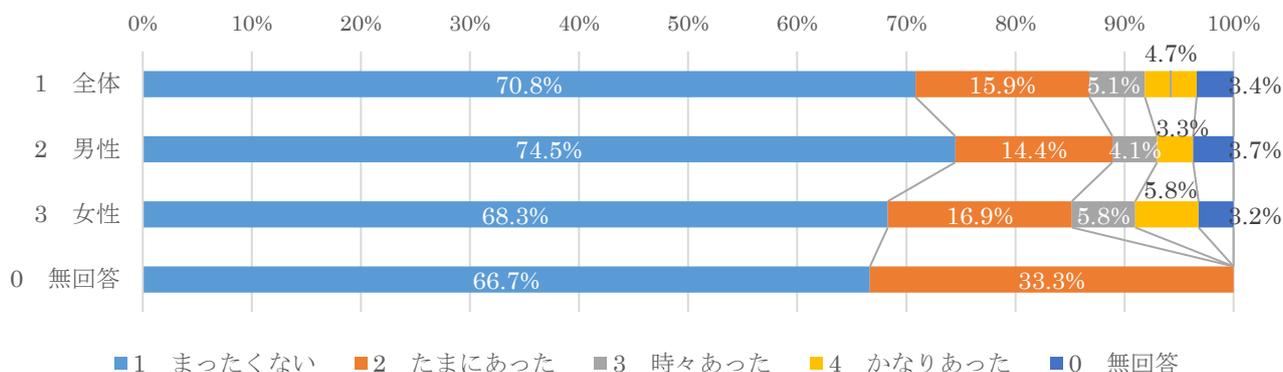
（ア）性的な冗談やからかい・質問などをされた。

	1 まったくない		2 たまにあった		3 時々あった		4 かなりあった		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	347	58.8%	158	26.8%	62	10.5%	13	2.2%	10	1.7%
2 男性	150	61.7%	61	25.1%	23	9.5%	5	2.1%	4	1.6%
3 女性	195	56.7%	96	27.9%	39	11.3%	8	2.3%	6	1.7%
0 無回答	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



（イ）配偶者やパートナーから、精神的・身体的に極めて嫌な思いや不当な扱いを受けた。

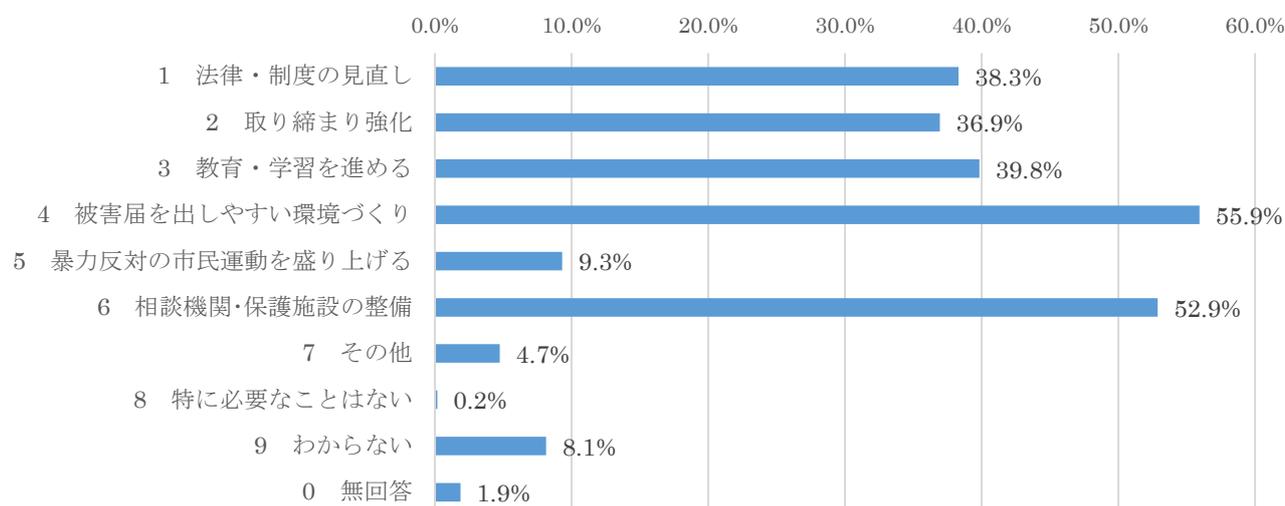
	1 まったくない		2 たまにあった		3 時々あった		4 かなりあった		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	418	70.8%	94	15.9%	30	5.1%	28	4.7%	20	3.4%
2 男性	181	74.5%	35	14.4%	10	4.1%	8	3.3%	9	3.7%
3 女性	235	68.3%	58	16.9%	20	5.8%	20	5.8%	11	3.2%
0 無回答	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問11 配偶者やパートナーからの暴力（DV、ドメスティック・バイオレンス）に対する関心が高まっていますが、このような状況無くすためには、どうしたらよいと思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 法律・制度を見直したり新たに定めたりする	226	38.3%
2 犯罪の取り締まりを強める	218	36.9%
3 社会における男女の平等や女性の人権についての教育・学習をすすめ、市民意識を高める	235	39.8%
4 被害者が、被害の届けを出しやすい環境（捜査・裁判など）をつくる	330	55.9%
5 被害者を支援し、このような暴力に反対する市民運動を盛り上げる	55	9.3%
6 被害者のための相談機関や保護施設を整備する	312	52.9%
7 その他	28	4.7%
8 特に必要なことはない	1	0.2%
9 わからない	48	8.1%
0 無回答	11	1.9%
計	590	100.0%



7 その他

- ・自分の気持ち、相手の気持ち（のやり取り）をしっかりと言葉で伝えられるような生活環境に戻す。（60代男性）
- ・母親が小さい子供を常にスキンシップ出来る環境を整える。子供が正常な大人に育つ環境を整える。（50代男性）
- ・男とか女とかではなく、他人を思いやる心の教育の拡充が必要だと思う。（50代女性）
- ・DV含め、防犯意識向上と、自己防衛のための教育（学校や職場で）。（20代男性）
- ・相手の人間がどういう性格か、見極める「眼」を持つよう教育・学習する。（50代女性）
- ・そんな人を好きになっちゃダメ。（40代男性）
- ・アルファベットではなく、日本語で「家庭内暴力」と呼び、分かりやすくする。（40代男性）
- ・DV予防に力を入れる。（50代女性）
- ・被害者が被害者であることを自覚しやすくなるよう情報提供・周知。（40代女性）
- ・被害者も自己を守る術を学ぶべき。（30代女性）
- ・被害者の相談窓口などを一般の方にも周知できるようにする。（20代女性）

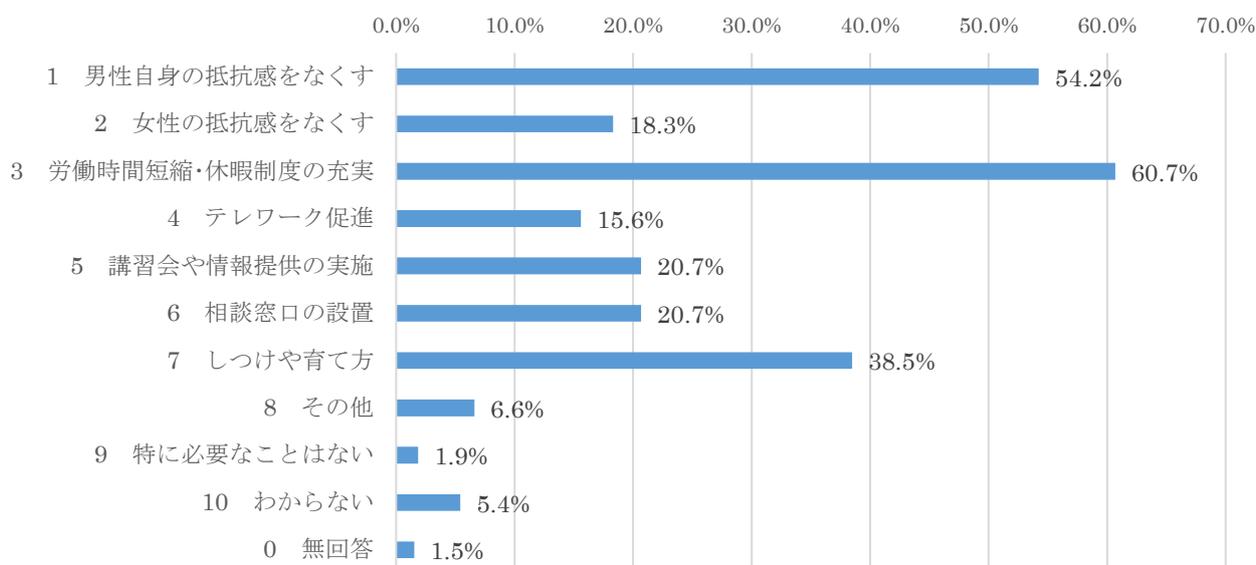
## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

- ・ 3に加え、男性のDV被害者がいることの認知を広める。(30代男性)
- ・ DVを受けないように、月に一度定期的に住宅を見回る。(20代女性)
- ・ 加害者になる人の更生を助ける。(40代女性)
- ・ 加害者更生プログラムの導入。(40代女性)
- ・ 加害者の動機を調査分析し、その後の政策に活用する。(40代男性)
- ・ 加害者にマイクロチップ挿入して、悪さできないように見張る。(20代女性)
- ・ 加害者の病理診断やカウンセリングを受けやすい環境をつくり、支援してほしい。(40代男性)
- ・ 何故DVしてしまうのか、してしまったのかよく聞き取りして、社会や周辺環境が与えてしまっている影響を見直す。(30代男性)
- ・ DVが発生する要因として、家族以外の外的ストレスが考えられる。夫ないし妻がそれが受けると、その発散場所として夫ないし妻にDVとして与えてしまう。そしてそれが子供にも負の連鎖として繋がってしまう。職場・社会がストレスレスな環境づくりを心がけることで、少なからずDVを減らす可能性は出てくると思う。あと、市にシェルターをいくつか創ると、被害者には安心でしょう。(30代女性)
- ・ 雇用の確保。(40代女性)
- ・ 女性の職業意識の醸成（結婚を機に仕事を辞めない）。(20代女性)
- ・ ジェンダーの普及。(60代女性)
- ・ まずは理解する。(30代男性)
- ・ 大家族で暮らす。(50代女性)
- ・ 人間がいなくなる。(30代男性)
- ・ 無理だと思う。(40代性別不明)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問12 今後、男性が家事や子育てに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。いくつでも選び○をしてください。

選択項目	回答数	割合
1 男性が家事や子育てに参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと	320	54.2%
2 男性が家事や子育てに参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと	108	18.3%
3 労働時間短縮や休暇制度の充実を進めること	358	60.7%
4 テレワーク（在宅勤務制度）を促進すること	92	15.6%
5 男性が家事の技能を高められるよう講習会や情報提供を行うこと	122	20.7%
6 仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	122	20.7%
7 家事を男女で分担するようなしつけや育て方をすること	227	38.5%
8 その他	39	6.6%
9 特に必要なことはない	11	1.9%
10 わからない	32	5.4%
0 無回答	9	1.5%
計	590	100.0%



8 その他

- ・ 学校教育に組み込む。(50代男性)
- ・ 学校教育の中で展開していくこと。(60代女性)
- ・ 本人のやる気次第。(40代男性)
- ・ 制度の充実だけでは不十分。社会的な風潮を変えていくこと。(40代男性)
- ・ 社会全体で男性参画を進めること。(30代女性)
- ・ 社会全体がそうなることが必要。(30代性別不明)
- ・ 社会的認知。(50代男性)
- ・ 結婚する人を増やす。(50代男性)
- ・ 年配の女性の考え方を変える。(50代男性)
- ・ 女性が積極的にやらないこと。(40代性別不明)

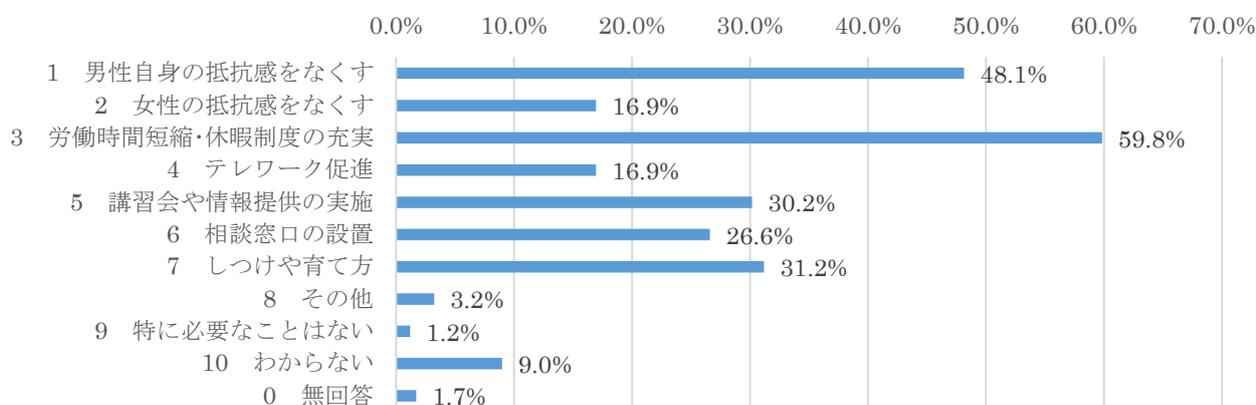
## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

- ・ 男性の間で、介護に参画することを認め合い評価する風潮づくり。(60代女性)
- ・ 男性の言い訳を減らす。(20代男性)
- ・ 男性が家事や子育てをすると得になる制度を作る。(30代女性)
- ・ 男性が子育て等をすることを当たり前だと思う周りの雰囲気。(30代女性)
- ・ 男性が子供を健診等に連れて行くのを拒否するような雰囲気をなくす。(40代男性)
- ・ 職場の理解。(30代男性、30代女性、40代女性)
- ・ 職場の理解が必要。(30代女性)
- ・ 職場全体の理解。(30代女性)
- ・ 職場の理解や雰囲気づくり(30代女性)
- ・ 社会や職場側の意識改革。(30代女性)
- ・ 男性が家事や子育てに参加することへの理解を職場側も意識すること。(20代女性)
- ・ 福利厚生充実。(30代男性)
- ・ 会社は休む仕組みを拡充すること(とくに給与面)。(30代男性)
- ・ 休みたいときに休める職場づくり。(20代女性)
- ・ 育休中も収入を減らさない制度。(30代男性)
- ・ 収入の確保。(50代男性)
- ・ 給与保障。(20代男性)
- ・ 男女の業務量を均等にする。(30代男性)
- ・ 職場での業務量の負担を減らす。(20代女性)
- ・ 相手を思いやる心が大事。(50代男性)
- ・ 親が見本を見せる事。(30代女性)
- ・ 家事も仕事と考え、互いの休める時間が同じくらいになるような分担にする意識を持つこと。(20代女性)
- ・ 配偶者とよく話し合う。(50代女性)
- ・ 夫婦、家族の問題である。それぞれのスタイルがあると思う。(50代男性)
- ・ 家事や子育ては個々の夫婦の考えで行えばよい。必ずしも男性が積極的に参画しなければならないわけではない。(結婚する前にパートナーと十分に話し合えば良い)(60代男性)
- ・ この質問が問題。参画していない前提。(30代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問13 今後、男性が介護に積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 男性が介護に参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと	284	48.1%
2 男性が介護に参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと	100	16.9%
3 労働時間短縮や休暇制度の充実を進めること	353	59.8%
4 テレワーク（在宅勤務制度）を促進すること	100	16.9%
5 男性が介護の技能を高められるよう講習会や情報提供を行うこと	178	30.2%
6 仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	157	26.6%
7 介護を男女で分担するようしつけや育て方をすること	184	31.2%
8 その他	19	3.2%
9 特に必要なことはない	7	1.2%
10 わからない	53	9.0%
0 無回答	10	1.7%
計	590	100.0%



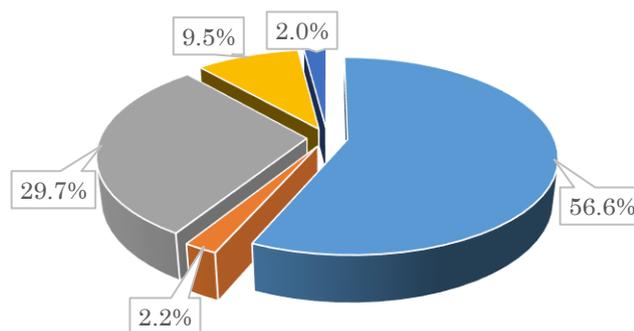
8 その他

- ・ 本人のやる気次第。(40代男性)
- ・ 福利厚生 of 充実。(30代男性)
- ・ 男性の間で、介護に参画することを認め合い評価する風潮づくり。(60代女性)
- ・ その人次第ですね。教えたからどうなるものでもない。相手を思いやる心が大切だと思う。(50代男性)
- ・ 介護者、施設をメインに充実させる。(40代男性)
- ・ 介護士の給料を他職より上げる。介護士の地位を上げる。(30代女性)
- ・ 女性が積極的にやらないこと。(40代性別不明)
- ・ 互いの休める時間が同じぐらいになるような分担にする意識を持つこと。(20代女性)
- ・ 男性に時間を与える工夫。(60代男性)
- ・ 介護の理解。(30代男性)
- ・ 介護をできる環境にある者がすべき。男女は関係ない。(30代男性)
- ・ 給与保障。(20代男性、40代女性)
- ・ 社会や職場側の意識改革。(30代女性)
- ・ 職場での業務量の負担を減らす。(20代女性)
- ・ 職場の理解が必要。(30代女性)
- ・ 本人の望まない転勤をさせないこと。(50代女性)
- ・ この質問が問題。参画していない前提。(30代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問14 国会議員や県・市議会議員・市区町村などの公職について、政策を立案し決定する際に女性の意見を反映するようにした方が良いと思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 そう思う	334	56.6%
2 そうは思わない	13	2.2%
3 どちらとも言えない	175	29.7%
4 わからない	56	9.5%
0 無回答	12	2.0%
計	590	100.0%

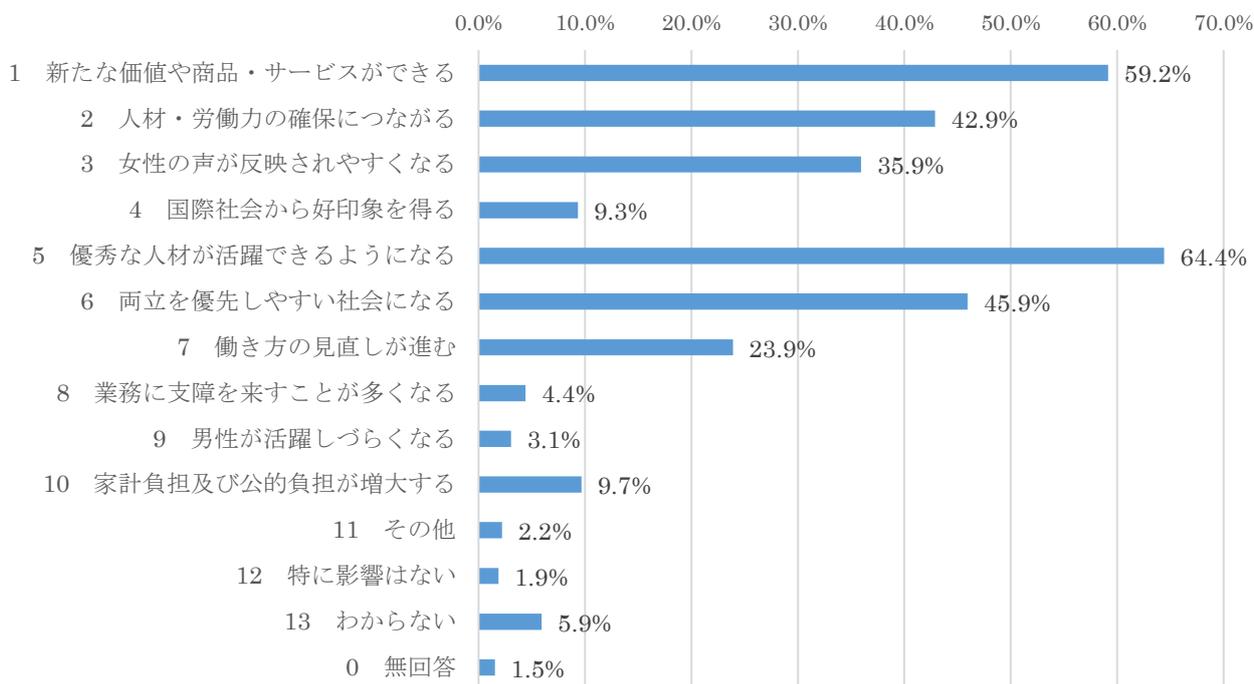


- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらとも言えない
- 4 わからない
- 0 無回答

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問15 平成27年に女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が制定・施行され、企業における取組が進められています。職場における女性活躍が進み、働く女性が増えると、どのような変化があると思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスができる	349	59.2%
2 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる	253	42.9%
3 女性の声が反映されやすくなる	212	35.9%
4 国際社会から好印象を得ることができる	55	9.3%
5 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる	380	64.4%
6 男女問わず仕事と家庭の両立を優先しやすい社会になる	271	45.9%
7 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む	141	23.9%
8 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる	26	4.4%
9 男性のポストが減り、活躍しづらくなる	18	3.1%
10 子育て・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する	57	9.7%
11 その他	13	2.2%
12 特に影響はない	11	1.9%
13 わからない	35	5.9%
0 無回答	9	1.5%
計	590	100.0%



## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

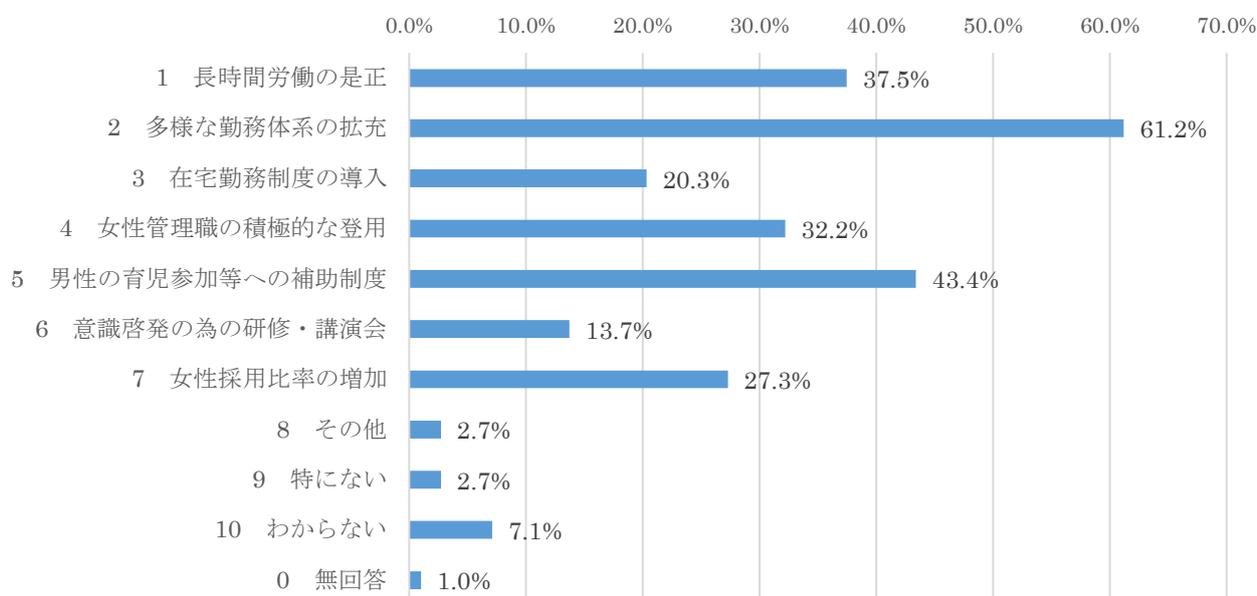
### 11 その他

- ・ 家庭学習の時間が取りづらくなり、この学習面の課題が生まれる。(30代女性)
- ・ 家庭内で料理を作る機会が減りおふくろの味がなくなる。(40代女性)
- ・ GDPの伸びは下がる。国力は落ちる。(20代男性)
- ・ 経済成長が加速される。(40代男性)
- ・ 女性が災害発生時、最前線の現場に立つことが少ないため、男性の負担が多い。(50代男性)
- ・ 女性活躍は良いことだが、一方で女性の負担感が増し、結果として女性の離職（有能な人材の損失）につながる可能性も大きくなると思います。(60代女性)
- ・ 女性が担う役割ばかり増える。(40代男性)
- ・ 結婚しない人が増える。(50代男性)
- ・ より一層少子化が進む。(40代男性)
- ・ 少子化が進む要因になると思う。しかし、女性自身が働くことに生きがいややりがいを求めつつ、家庭においても子供がほしいと思うだろう。しかし、キャリアや子育てをしやすい環境が整っていない。また、不妊治療など、いざ子どもが欲しいという時に医療的援助が、現代社会ではまだ整っていない。それを考えると、やはりキャリアを捨てて専業に入る女性が多いのが現実。子供を産む年齢リミットが女性にはあることを踏まえた、職場・社会の改革が必要。(30代女性)
- ・ ワークライフバランスをより重要視する必要がある。(40代男性)
- ・ 組織の風習（慣習）が変わらなければ、職場でのその人への風当たりが強くなり、今までと何も変わらなくなると思う。(50代女性)
- ・ 役所という職業柄大胆な改革が必要だと思う。この質問が男性の上から目線。よくない。(30代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問16 女性の活躍を促進するためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

選択項目	回答数	割合
1 長時間労働の是正	221	37.5%
2 短時間勤務制度やフレックスタイム制等の多様な勤務体系の拡充	361	61.2%
3 テレワーク（在宅勤務制度）の導入	120	20.3%
4 女性管理職の積極的な登用	190	32.2%
5 男性の育児・介護等への参加への補助制度の導入	256	43.4%
6 意識啓発の為に研修・講演会の開催	81	13.7%
7 女性採用比率の増加	161	27.3%
8 その他	16	2.7%
9 特にない	16	2.7%
10 わからない	42	7.1%
0 無回答	6	1.0%
計	590	100.0%



8 その他

- ・ 男女の別を問わず、政策決定に市民の意見が反映されること。(60代女性)
- ・ 比率を意識して増加させる必要はないけれど、優秀な人材ならば、公平な視点で採用してあげて欲しい。(50代女性)
- ・ 労働生産性を高める事。(50代男性)
- ・ 男女どちらかの収入で十分生活できるようにする必要がある。(40代男性)
- ・ 1,2を男女両方に適用する。女性が短時間勤務の日もあれば、男性が短時間勤務の日もある状態。(30代男性)
- ・ 職種に対する印象を変えること（～業は男性（女）など）。(20代男性)
- ・ 性別関係ない仕事でも、男性のみ or 女性のみでの募集は意味不明。(30代男性)
- ・ 女性のライフワークにあわせた登用のタイミングへの配慮をお願いしたい。(60代女性)
- ・ 年齢が高くても働ける環境。(50代女性)
- ・ 女性管理職の単身赴任をできるだけなくす（男性も同様に。行ける人が行く!!）。(30代女性)

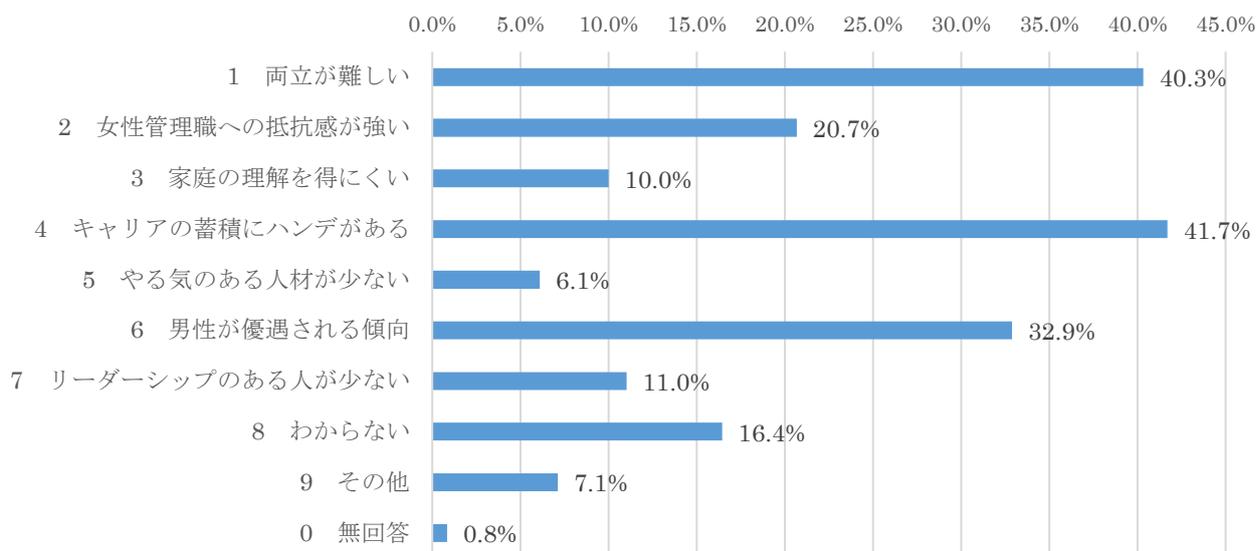
### 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

- 働いている中で、ライフプランを安心して計画しやすい社会や職場にしていく必要がある。たとえ子供を産んだり、病気で治療の為に一時的に職場を抜けたとしても、それを咎めたり、キャリアをストップさせないよう、一人一人の意識を変える必要がある。（30代女性）
- 肉体労働。（50代男性）
- ジェンダーの普及。（60代女性）
- 男性の意識改革。社会的な目線の見直し。（30代男性）
- 今まで家庭を蔑ろにしてきた人に、家庭の事をすべてやらせる。まずは辛さを知る事から。（30代男性）
- 特に促進する必要性を感じない。（40代女性）

## 3. 職場における男女の役割などについて

問17 あなたは、市役所に女性管理職が少ないことについて、どのような理由があると考えますか。

選択項目	回答数	割合
1 管理職は家庭との両立が難しいため	238	40.3%
2 職員の中に女性管理職への抵抗感が強い	122	20.7%
3 家庭の理解を得にくい	59	10.0%
4 出産など仕事を休む場合、キャリアの蓄積にハンデがあるため	246	41.7%
5 女性にやる気のある人材が少ない	36	6.1%
6 男性が優遇される傾向がある	194	32.9%
7 リーダーシップを発揮できる能力のある人が少ない	65	11.0%
8 わからない	97	16.4%
9 その他	42	7.1%
0 無回答	5	0.8%
計	590	100.0%



## 9 その他

- ・職務の他に家庭の仕事が膨大にあり、職務へ専念できる時間、体力に限界がある為。(40代女性)
- ・長い事女性のキャリアイメージを作てこなかったため。(50代男性)
- ・人事計画が無い。(50代男性)
- ・男性に比べて、管理職にするための育成をされてこなかったのでは…と思う。(30代女性)
- ・女性に対する管理職教育が少ないため。(50代男性)
- ・人事権を持つ者が女性を管理職にする気が無かった、又は女性を管理職にする前提で人材育成してこなかった。(40代男性)
- ・なりたい女性が少ないのは事実。(50代男性)
- ・女性職員自身が管理職を望んでいるのか不明。望んでいないのではないのでしょうか。望んでいるなら、能力を見極めたうえで登用すべき。(50代女性)
- ・(男女問わず)管理職の魅力が少ないため、なるべく昇格しないように立ち回る方々が多いのではないのでしょうか。(40代男性)

## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

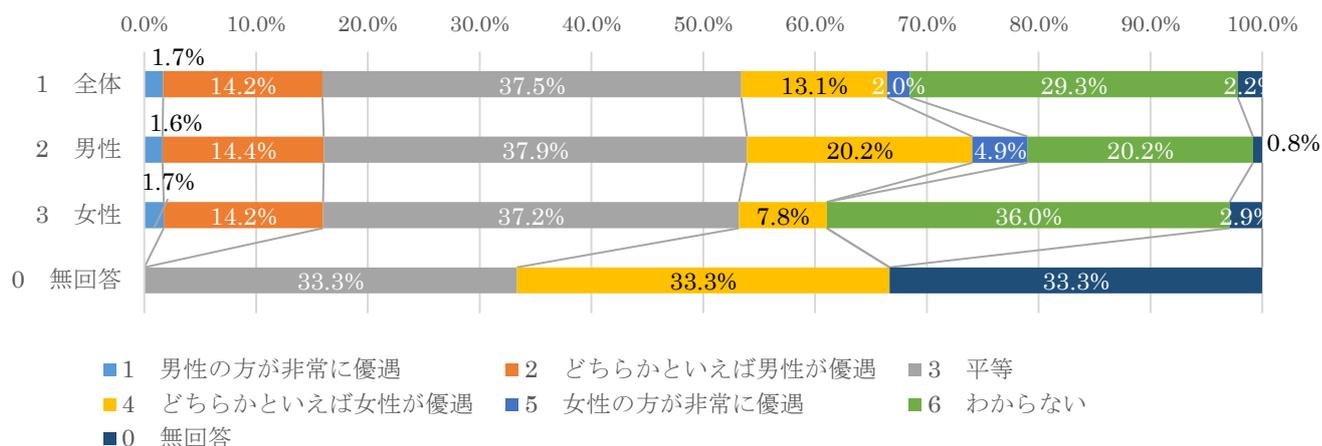
- ・ 管理職相当の年代に女性職員が少ないから。(40代女性)
- ・ 管理職の年代の女性職員が少ないため。(40代男性)
- ・ そもそも優秀な人材が少ない。(30代男性)
- ・ 育児・結婚などで男性に比べ女性退職者が多いため。(20代女性)
- ・ 女性同士での見識の狭さも影響していると思う。(60代女性)
- ・ 男性に比べて、早期退職する割合が高いため。(40代男性)
- ・ 前例があまりないから、女性の間で関心がいかないこともあるのではないかと思う。(20代男性)
- ・ それが慣例となっているため。よくない習慣。(30代男性)
- ・ 旧体制から抜け出せてないだけ。(20代男性)
- ・ 管理職次第。(30代男性)
- ・ 当局側での登用方針次第では？(50代男性)
- ・ 市役所の体制・採用の問題。(30代女性)
- ・ 管理職の任命について不明(条件等)。(40代男性)
- ・ 管理職の選定基準がわからない。(60代男性)
- ・ 正しく評価していないため。(50代男性)
- ・ 本人のやる気。(40代男性)
- ・ 組織の風土。(30代男性)
- ・ 組織全体の考え方。(60代男性)
- ・ 家庭を優先したい人もいるため、そもそも管理職になりたくない人が多いため。(30代女性)
- ・ 女性の忠誠心に信用が無いため。(30代女性)
- ・ 職員が望んでいないため。(20代女性)
- ・ 議会で、女性課長にだけ態度を変える議員さんがいるのを見ると、なりたい人は少ないんじゃないかと思った。(20代女性)
- ・ 見えない天井が存在しているから。(60代女性)
- ・ 「女は庶務」的な考えの職員が男女共にまだまだ多いため。(50代男性)
- ・ 母数が少ないだけ。(30代女性)
- ・ 管理職を任用する人の意識の問題。(30代男性)
- ・ 能力で評価してこなかったから。上の好き嫌いが多いため？昇格のシステムも年功序列なので。(30代男性)
- ・ 女性を管理職に任命していない(少ない)ため。(50代男性)
- ・ 夫婦で勤務している方が多い。(30代男性)
- ・ 管理職を使用する側が理由を明確にすべきと考えます。(40代男性)
- ・ 責任を負わないように育てられているため。(40代男性)

男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問18 塩竈市役所において、男女の就業上の差は制度上ありませんが、どう思われますか。

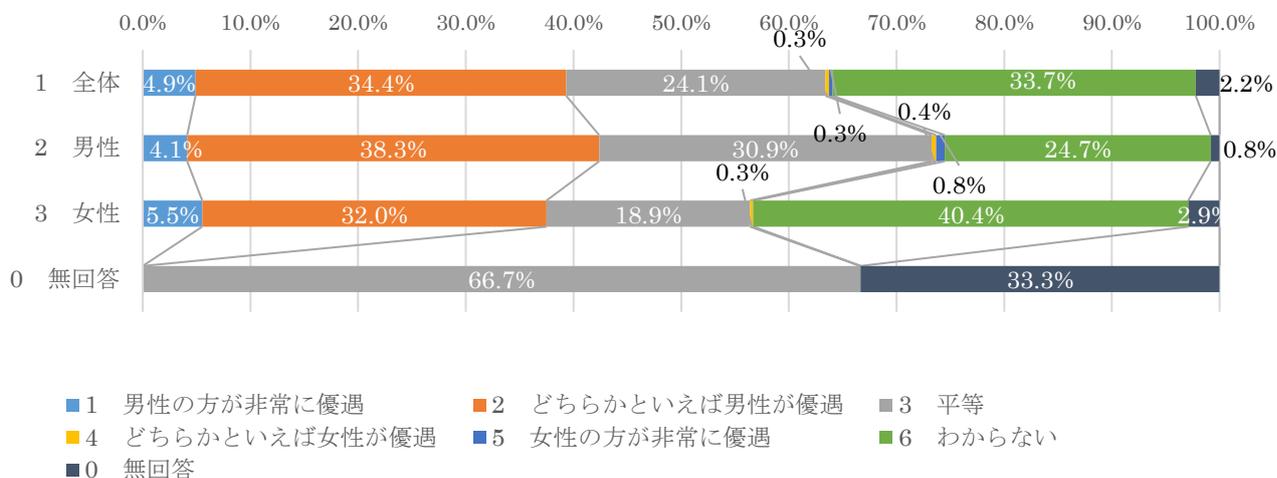
(ア) 仕事の内容・分担

	1 男性の方が非常に優遇		2 どちらかといえば男性が優遇		3 平等		4 どちらかといえば女性が優遇		5 女性の方が非常に優遇		6 わからない		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	10	1.7%	84	14.2%	221	37.5%	77	13.1%	12	2.0%	173	29.3%	13	2.2%
2 男性	4	1.6%	35	14.4%	92	37.9%	49	20.2%	12	4.9%	49	20.2%	2	0.8%
3 女性	6	1.7%	49	14.2%	128	37.2%	27	7.8%	0	0.0%	124	36.0%	10	2.9%
0 無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%



(イ) 昇任・昇格の早さ

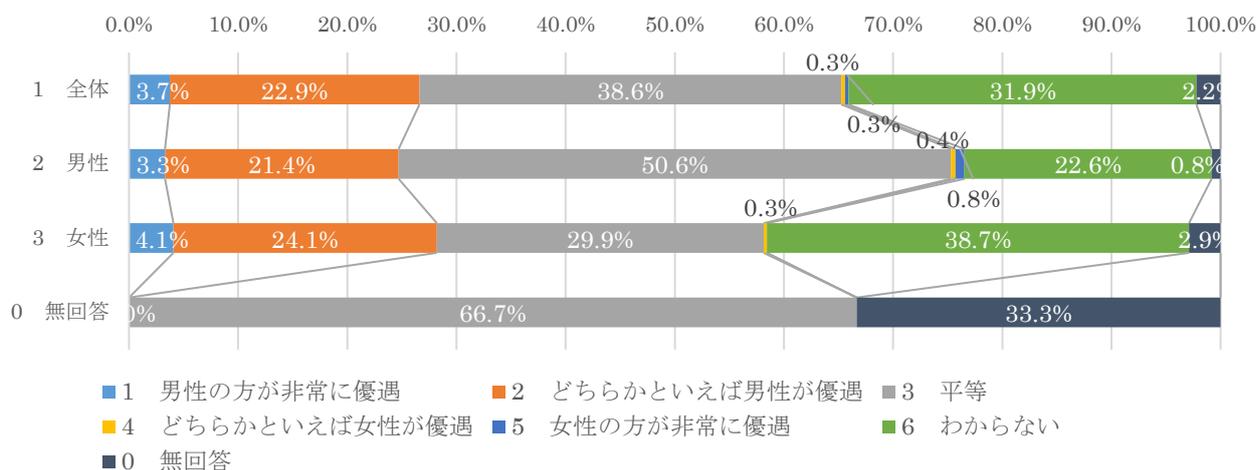
	1 男性の方が非常に優遇		2 どちらかといえば男性が優遇		3 平等		4 どちらかといえば女性が優遇		5 女性の方が非常に優遇		6 わからない		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	29	4.9%	203	34.4%	142	24.1%	2	0.3%	2	0.3%	199	33.7%	13	2.2%
2 男性	10	4.1%	93	38.3%	75	30.9%	1	0.4%	2	0.8%	60	24.7%	2	0.8%
3 女性	19	5.5%	110	32.0%	65	18.9%	1	0.3%	0	0.0%	139	40.4%	10	2.9%
0 無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%



## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

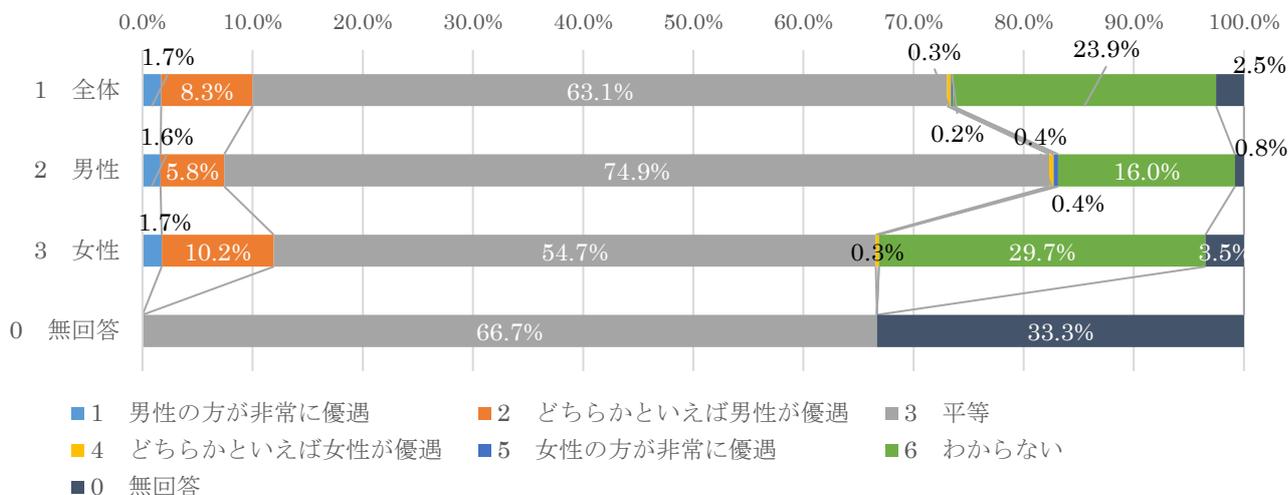
### （ウ）能力発揮の機会

	1 男性の方が非常に優遇		2 どちらかといえば男性が優遇		3 平等		4 どちらかといえば女性が優遇		5 女性の方が非常に優遇		6 わからない		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	29	4.9%	203	34.4%	142	24.1%	2	0.3%	2	0.3%	199	33.7%	13	2.2%
2 男性	10	4.1%	93	38.3%	75	30.9%	1	0.4%	2	0.8%	60	24.7%	2	0.8%
3 女性	19	5.5%	110	32.0%	65	18.9%	1	0.3%	0	0.0%	139	40.4%	10	2.9%
0 無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%



### （エ）職場・職務の情報伝達

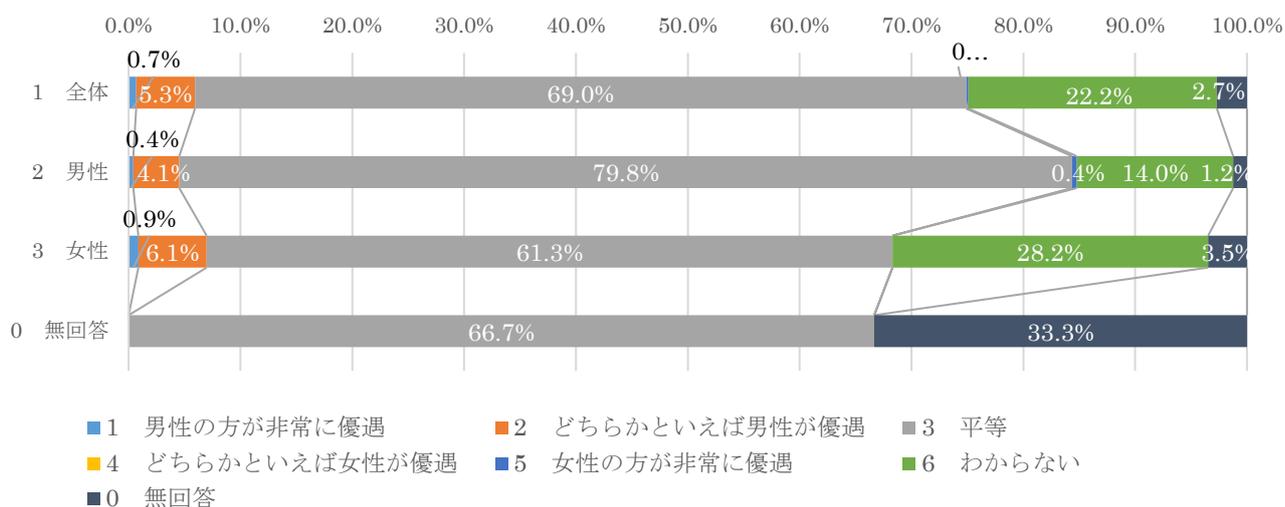
	1 男性の方が非常に優遇		2 どちらかといえば男性が優遇		3 平等		4 どちらかといえば女性が優遇		5 女性の方が非常に優遇		6 わからない		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	10	1.7%	49	8.3%	372	63.1%	2	0.3%	1	0.2%	141	23.9%	15	2.5%
2 男性	4	1.6%	14	5.8%	182	74.9%	1	0.4%	1	0.4%	39	16.0%	2	0.8%
3 女性	6	1.7%	35	10.2%	188	54.7%	1	0.3%	0	0.0%	102	29.7%	12	3.5%
0 無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%



## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

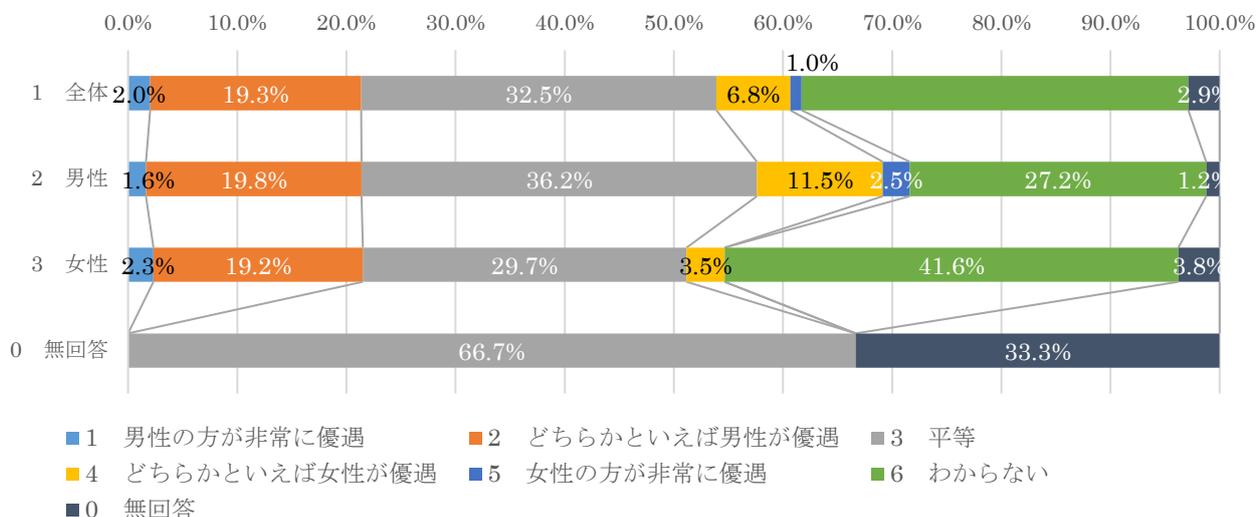
### （オ）研修・教育の機会

	1 男性の方が非常に優遇		2 どちらかといえば男性が優遇		3 平等		4 どちらかといえば女性が優遇		5 女性の方が非常に優遇		6 わからない		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	4	0.7%	31	5.3%	407	69.0%	0	0.0%	1	0.2%	131	22.2%	16	2.7%
2 男性	1	0.4%	10	4.1%	194	79.8%	0	0.0%	1	0.4%	34	14.0%	3	1.2%
3 女性	3	0.9%	21	6.1%	211	61.3%	0	0.0%	0	0.0%	97	28.2%	12	3.5%
0 無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%



### （カ）人事異動・配置

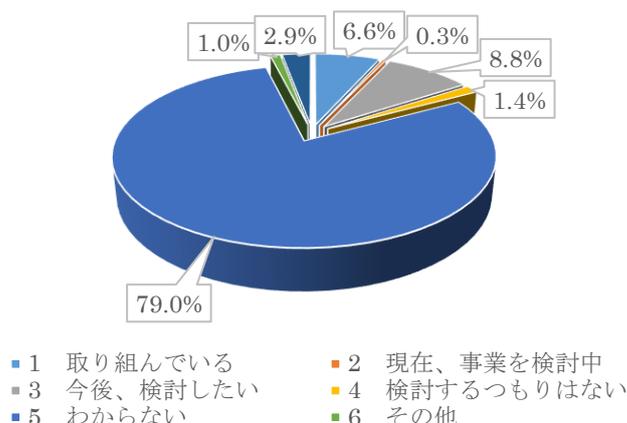
	1 男性の方が非常に優遇		2 どちらかといえば男性が優遇		3 平等		4 どちらかといえば女性が優遇		5 女性の方が非常に優遇		6 わからない		0 無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全体	12	2.0%	114	19.3%	192	32.5%	40	6.8%	6	1.0%	209	35.4%	17	2.9%
2 男性	4	1.6%	48	19.8%	88	36.2%	28	11.5%	6	2.5%	66	27.2%	3	1.2%
3 女性	8	2.3%	66	19.2%	102	29.7%	12	3.5%	0	0.0%	143	41.6%	13	3.8%
0 無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%



男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

問19 男女共同参画施策は第五次長期総合計画の協働で創るまちづくりに位置付けられており、全庁的に取り組むことになっています。あなたの部署では、男女共同参画に関する事業に取り組んでいますか。

選択項目	回答数	割合
1 取り組んでいる	39	6.6%
2 現在、事業を検討中	2	0.3%
3 今後、検討したい	52	8.8%
4 検討するつもりはない	8	1.4%
5 わからない	466	79.0%
6 その他	6	1.0%
0 無回答	17	2.9%
計	590	100.0%

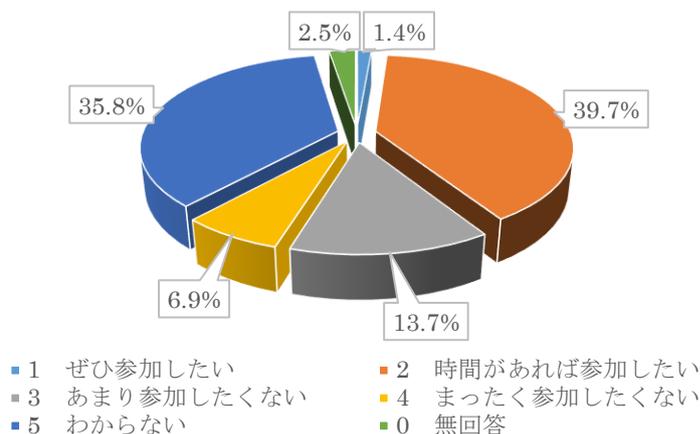


6 その他

- ・ 業種的に不可能。(40代男性)
- ・ 日常的に、男女の別なく全員で職務に就いているので、特に意識するようなことはないと考える。(60代男性)
- ・ 取り組んでいない。(年齢無回答女性)
- ・ 取り組んでいない。(30代男性)

問20 男女共同参画に関する庁内研修が開催された場合、あなたは参加したいですか。

選択項目	回答数	割合
1 ぜひ参加したい	8	1.4%
2 時間があれば参加したい	234	39.7%
3 あまり参加したくない	81	13.7%
4 まったく参加したくない	41	6.9%
5 わからない	211	35.8%
0 無回答	15	2.5%
計	590	100.0%



## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

男女共同参画社会づくりや男女共同参画施策について、庁内外を問わず自由にお書きください。

### (1) 男女共同参画社会について（38件）

- ・ 男女の別はそれぞれの個性としてもっと認めてもよいのではないのでしょうか？「何がなんでも男女同じ事をしないと駄目だ!!」という考え＝「男女共同参画」なのではないのでしょうか？それぞれの足りない部分、出来ない部分を補い合って共に活躍していく社会を作っていくことが、男女共同参画社会の目指すところではないのでしょうか？（40代女性）
- ・ 個々の能力が生かせればいいと思います。一日は24時間なので、女性が家事等の大部分や介護・育児をまかなう現状では、能力があっても限界があります。思ったよりも日本社会は男性中心です。これからは、様々な選択肢が性を問わずあることを願います。（60代女性）
- ・ 言葉の定義（男女共同参画社会、ジェンダーなど）をより明確化し、わかりやすく広めつつ、男女差別だけに着目せず、男女平等化が進んだ明るい未来のこと（可能な限り実現がたしかなもの）をアピールすると、男女問わず関心を持ち、有用な意見も出てくるのではないかと思います。（20代男性）
- ・ 女性でも優れた能力を発揮して活躍している人もいるし、男性でも育児や家事が上手な人がいて、専業主夫を選択している人もいます。結局は、男女の性別にとらわれず、その人の個性・特性・得意なことを発揮できる社会となって、やりがいや自分らしさを感じられる世の中になってほしいです。生きてきた時代、育てられた環境、経験してきたことにより、それぞれ価値観は違うが、「昔はこうだったから当たり前」ではなく、今の時代の考えや流れはどうなのか、これからの時代には何が必要なのかを立ち止まって考え、多様な考えやスタイルを受け入れる柔軟さが幅広い世代が一緒に働いたり、地域で生活して共生していく際には大切になっていくと思います。（40代女性）
- ・ 男性が子育てに参加するだけでイクメンなどと称賛されたり、社会ではまだまだ男女の不公平感があると感じるが、昔に比べて意識が変わり、「女だから～」と言う人も少なくなってきた。男女共同参画を掲げることで、喜びも責任もともに分かち合う社会。楽しみにしたい。（40代男性）
- ・ もはや、性別でのくくりすら、周回遅れの考え方になっているように思う。個人が個人として活躍できる、自己実現を追求することを妬みや僻みややっかみや嫉みや恨みやそんなマイナスな感情で足を引っ張るような、不寛容な社会であっては発展が無い。多様な人の多様なタイプの多様な能力が持続的な組織・社会・世界の実現には必要だと思う。（50代男性）
- ・ 平等にする必要ない。特性に合わせた対等にしたい方がいい。（30代男性）
- ・ 日本人への固定観念から抜け出せていない。（60代女性）
- ・ 男女とも自らの性に対するこだわり（男だから…女だから…）を払拭することが大切（時と場合に応じること、置かれた状況は考慮する必要がある）であると思う。行政としても、そのことを目指した施策・意識づけを行っていくことが重要であると思う。（60代男性）
- ・ 男女平等・共同と言う考えはよくわかりますが、具体案を出して、目標に向かって案を作成するのは、とても難しいなと思います。仕事面の平等（共同）についても、働きたい、評価されて上に上がりたい女性にとっては今の男性と同位置に!!と思うのですが、果たして女性の中にそういう意識をもって働いている人は何人いるのか。むしろ、男性の方が求められていてつらいという事も多々あるのかなど。人によって、「優遇」や「平等」の項目が違うと難しいですね。家庭の事も、いざ夫が参画して幅を占めたら嫌がる女性も多そうです。時短勤務、休暇などではなく、男女共定時に上がり、できることをお互い手伝うというだけで大分違うと思います。男女とも、その人に見合った（希望する）役割を受容してくれる社会だといいです。（30代女性）
- ・ LGBTQのように、今は多様な性があり、結婚観等も大きく変わりつつある。男性・女性だけでなく、どんな人でも生活しやすい・働きやすい環境づくりをしていかなければならない。自分自身固定観念にとらわれず、過ごしていきたい。（30代女性）
- ・ 今は「男女」だけではなく、LGBTQを含めて、全ての人が個人を活かせる社会になる事が必要だと思います。庁内の取組には積極的に参加できればと思います。（20代女性）
- ・ 能力があれば、女性でも活躍できると思う。このテーマを女性が声を大にして発言していると、興覚めしてしまう。（30代男性）
- ・ 現在働いている部署では、女性の管理職や、男女問わず個人の能力をそれぞれ生かせる業務につける環

## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

境下であり、男女共同参画は概ねできていると感じます。問題は、役所外での「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」といった見方の改革、男女共に育休や多様な勤務体制を何の気兼ねもなく選択できる地域社会の構築が必要な事です。自分も女性の身ながら常々感じている事です。己のライフプランをたてるにあたって、女性側はとても悩む項目が多いです。育児やキャリアプラン、己の家族の事…特に育児子育てについては、女性は体の産める年齢の問題もあるのでとてもシビアです。早くに産めばキャリアはつめない、だが産んだとて育休の取得も難しい。でもそれは育休を取得したい男性も同様で、まだ社会の中に「しづらさ」があるのが現実です。そういった「〇〇しづらさ」を取り除き、「〇〇しても大丈夫だよ」「問題ないよ」と胸張って取得できる環境を作っていけたらと考えます。その為には、世代を超えた地域社会への理解が必要です。逆に、「男性ってどんな特性があるの?」「女性の能力って?」など、それぞれの性別の特性や体質についての（外側だけではなく）学術的方面から理解を深めていくことも、性別間の壁を取り払う一つの策と考えます。もちろん、それだけでなく、個人の能力を最大限出せるようにすることが男女共同参画の目標ではないかと。（30代女性）

- 子どもの育成に携わる仕事です。これからの日本・世界を創りゆく子供たちにとって、「生きやすい社会」をつくる事、学んで働いて楽しんで人生を歩む中に「男女平等」「男女共同参画」「違っているからこそ互いを尊敬し、助け合ってゆけること」の大切さを伝えていきたいと思う。それには、日々の暮らしの中で、「あたりまえ」に平等を感じられなければならないと思う。「女の子だから」「男の子だから」といった言葉もなくしていけたらと思う。（50代女性）
- どうしても男性にしか出来ない仕事、あるいは女性にしか理解されない仕事がある以上、根本的に男女平等にはならない（体力的なもの、生理的なものがある）。また、日本の学校教育の中で不平等な部分がある。そのような所を変えていかない限り無理と考える。（40代男性）
- 女性活躍推進法など、近年は「女性が不当に扱われている」という固定観念の下、それを必要以上に訴える方が増えている印象がある。個人の意識によらない社会全体での現状分析が必要と考える。（40代男性）
- 私は男性です。数年前に子供が生まれ、3ヶ月の育休を取得しました。妻が子供を身ごもるまで、家庭の事は基本的に妻が行い、私は仕事に注力していました。子供を身ごもる前から、妻は自営業で働いていましたが、家にいながらの仕事であったため、家庭の事については甘えることが多かったです。子が妻のおなかに訪れ、つわりが出たころからは私も家庭の事を行うようになりました。結婚前は一人暮らしのような状況で過ごしていたため、出来ないことはありませんでしたが、仕事で疲れて帰ってから行うのはしんどいものがありました。しかし、妻はそれ以上につわりがひどく、愚痴をこぼせるような雰囲気でもありません。子が生まれ、育休期間中に子育てと家庭の事を妻と半々で行っていたつもりでしたが、1ヶ月ほど経ったあたりで「あまりやってもらっていない」と言われました。詳しく聞くと、子供の面倒をあまりやってもらっていない」と言われました。詳しく聞くと、子供の面倒をあまり見ていないとのことで、振り返れば家事ばかりしていたことを痛感しました。それからは育児を増やし、家事を妻にお願いすることも増えました。次に辛さを感じたのは、一歳半を過ぎたころです。コロナの影響で実家を頼れず、外にも出れず、妻はいつも子供と二人で家にいました。話が通じない子供とほとんど家にこもる生活は、精神を非常に蝕みました。妻は追い詰められていましたが、私は多忙により自分の事を優先してしまい気付くことができませんでした。最終的にはぎりぎりのところで話し合うことができ、保育所を活用することを提案。すぐに入所できたので事なきを得ましたが、心身の回復には数か月を要しました。現在は、私は部分休業の制度を活用し9:00~16:45の勤務形態とし、家庭の事や育児にも時間を割けるように工夫しています。（仕事以外の時間は育児 or 家庭のことを行っているため、自分の時間がなく、私がしんどくなってきたことも感じます。）部分休業を取るようになり、仕事の能率は若干ながら下がりました。しかし、カバーに入れる人員が全庁的に不足しているため、効率化を図りごまかしています。このことが、昇給や勤勉手当、昇格に影響が出るのか少し気になってはいますが、過去のパワハラですらなあなあにしている組織ですので聞いても答えが来ないと感じているため、質問していません。また、職員数が少なすぎるため、「自分が勤務時間を減らす＝他の職員の負担が増える」という状況が心苦しく、精神的にも責めを受けている気分になります。以上の事から、男性が育児や家庭の事に参画する際には、「職場の理解」や「収入」だけでなく、見えないハードルがいくつもあることを身

## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

をもって経験しました。これらを解消するには、男性は「女性が何をしてほしいか。どこに気を付けるべきか。」を学び、女性は「男性がやらないのは気付いていないから。気付けば（やり方も調べて自分でやる）」ということを知って頂くことが第一に出てくるかと思います。また、職場は「育児」や「家庭のこと」を行う職員に対し、「制度的な配慮」だけでなく、「他の職員に負担がかからぬよう業務が回る配慮」を行うべきであると感じております。端的に言えば、正規の職員数を増やし、個々の仕事量を減らすことが必要と考えます。男女の平等・公平・参画について、昔ながらの考え方や男女の能力差でもって反対する人・無関心な人もいると思いますが、時代が変わり、能力はここで異なる事の理解が若い人を中心に進んでいます。取り纏めの程、頑張ってもらえればと思います。取り留めのない長文で失礼しました。

（30代男性）

- ・ やる気のある女性とやる気のない女性との差がある。女性という事で同じ仕事をやらない権利を主張するなら義務もはたすように。これは男性も同じ。男女平等というならそのような人事配置や業務量を確保すべき。（50代男性）
- ・ 男女共に時間外勤務が庁内全体で減らない限り、絵に描いたもちになると思います。男女共に市職員で、責任と勤務状況が同じ（ともに時間外が多い等）のお子さんは誰が育てるのでしょうか？（20代女性）
- ・ 男女共に育児休業を取りやすい環境作りをもっと取り組んで行く。（20代女性）
- ・ 男性・女性共に仕事の量が多すぎる。テレワーク・在宅勤務・フレックスタイム制を早く常時取り入れてほしい。それぞれの生活スタイル、家庭環境に合わせて仕事を選べる（業務内容も）ようになってほしい。（30代女性）
- ・ 民間企業では約20年前から女性の労働力発現に向け、積極的に取り組んでいました。その目的は生産性の向上（営業・生産問わず）のためです。（60代男性）
- ・ 現状、自身が担当する業務で限界を感じているのに、更に新しいことが次々と増えている。自身の事で精いっぱいであり、周囲に気を配る余裕もなくなっている状況で、男女の平等や仕事と家庭の両立を求められても無理である。（40代男性）
- ・ 私は女性だが、いくら男女共同参画社会について研修をしたり話し合ったりしても、年配の男性の方から考え方を変えていかないと意味が無いように思う。女性はどうしても出産などで休まざるを得ない。その時の職場からのマタハラ（庁外）に耐え、育休取得しても、2回目・3回目と取りづらい。一方、夫は働き続け、仕事に穴をあけることもない。不平等。でもこれが現実だし、仕方がないと割り切って過ごすのが女性。すべて平等に、とは出来ないが、まず年上の方々の考え方から変えていかなければ、施策は進まないと思う。（30代女性）
- ・ 女性は外回りや力仕事をしないという固定的な考えがあると思う。女性は毎日ズボンで勤務し、作業着も男性同様に支給し、草刈りや力仕事をさせるべき。50代が力仕事をして20代が事務仕事という現状を管理職は改善すべき。20代も「己は事務職なので外仕事はしない」という考えを直すべき。男性管理職は、女性に力仕事をさせるべき。（女の方が力はある!!）（50代女性）
- ・ 女性間でも格差があるように思います。楽ちんな仕事で許される女性とそうでない女性がいると感じています。若さ、容姿が影響する対応もセクハラかと思います。男女の区別なく、長時間労働や“やりがい搾取”が公務労働にはあると思います。産休・育休は素晴らしい事です。しかし、女性の休業を穴埋めするのが女性という暗黙のルールがあるように思います。“お互い様”も男女平等になればいいと感じています。配偶者を“扶養する”制度がもっとうすくなれば、女性の職業参加も進むのかなあと感じます。（30代女性）
- ・ 市役所内で業務上の差を感じることはありませんが、それらが課題となっている企業が市内には多数存在すると思うので、市役所内だけではなく、企業に向けて男女の就業上の差に関する調査を行い、現状を把握する必要があると思います。また、肉体的な労働をともなう職では、男女でも全く同じ仕事量だと身体上の差から女性の体の負担が大きくなってしまったといったことも懸念されます。その点も含め、男女の労働格差について考慮して頂ければと思います。（20代女性）
- ・ ワンオペ家事・育児&夫の勤務地の近くに居住だと、勤務時間の制約が大きく、働きにくさを感じています。皆で苦しむのではなく、皆が環境・条件に合わせて楽しく働ける塩竈市・社会になればよいと望みます。まずは、実際上も希望する短時間勤務ができる塩竈市にしたいです。（30代女性）

## 男女共同参画に関する市民意識調査結果（職員編）

- ・ 市役所内において男性しかいない部署・男性が多い部署・女性が多い部署と偏りが見られるので、合理的根拠がないのなら是正が必要と思う。（30代男性）
- ・ それ以前に、朝夕の挨拶すら非正規職員と全くしない男性職員がいることに驚きます。人間性を疑います。やはり個人の問題だと思います。（30代女性）
- ・ 職場においては、これまでより財政が厳しくなり多くの職員を雇用することは困難と思われます。限られた人材を活用し、行政サービスを維持する工夫が求められる。このため、老若男女の幅広い人材活用が必須と思われますので、皆が働きやすい環境をさらに整えていく必要があると思われます。（50代男性）
- ・ 女性の社会進出が、未婚率を上げ、出生率を下げ、日本社会衰退につながっている視点を持ってほしい。（50代男性）
- ・ 子育て中の男性職員「有給休暇を使う暇がなく、余ってしまった」子育て中の女性職員「子供の通院・学校行事等で有給休暇がギリギリだった・足りなかった」このギャップが長年ずっと続いているのはどうしてなのでしょう…といつも思います。（40代女性）
- ・ 市役所においては男性管理職の方の意識の問題と考える。自分の弁当の注文さえ職員（係員）にやらせるような、特別意識を持っている方が管理職では、「男女共同参画」は進まないと思う。（30代男性）
- ・ 男性が育休制度を利用することは、制度上問題ないのにも関わらず、上の職員（40代以上の男性職員に多い）があまりいい顔をしない方が多いように感じる。（40代女性）
- ・ 子育てや介護など、制度上は充実していると思いますが、取りにくい環境にあると思われます。常に人員不足であり、その分他の職員にしわ寄せがあります。一人一人の意識向上、理解を深めることはもちろん大切ですが、人員不足の部分の解消が重要だと思います。（30代女性）
- ・ 本市が近隣自治体と比べ、共同参画施策が進んでいるのか遅れているのかわからない。本市の特徴（長所）、これからの課題（短所）を見える化してほしい。（50代男性）

### (3) 本調査について（5件）

- ・ 今回のアンケートを見て思った事があります。どれだけあるかわからないけれども、男性でなければやりにくい仕事、女性でなければやりにくい仕事があると思われます。これらのことももっと詳しく分けた上でアンケートを出来ればもっと良かったのかなと思われます。（50代男性）
- ・ 第2次計画策定時の市民向けアンケートからアンケート内容の変更が見受けられない。震災から10年経過し、長引くコロナ禍にあつて、社会情勢や生活環境が変容しているにも関わらず、全く質問に反映されていない！また、第6次長総素案が職員に周知されているにもかかわらず、長総内容にも触れずに第3次を策定に必要な意識調査では無意味です。何をしたいのか全く分からないアンケートです！！（50代男性）
- ・ 男女平等・共同参画のアンケートの割には男性にあまり関心のない設問だと感じます。問11は、DVは男性が女性にするものと受け取れるし、回答3では男性の人権には触れられていません。問12、13では設問そのものが「男性は育児も介護も積極的ではない」ことを前提としており、回答者にいらぬ先入観を与えています。何を意図したのかよくわかりませんが、適切な回答は得られないと思われます。女性側の視点で考えてしまうため。DVは女性→男性のパターンがあることも、女性→女性、男性→男性のパターンもあります。男尊女卑と言う考えはほこりをかぶった化石のような思想ですが、恨みを晴らすような女尊男卑にならぬようご注意ください。（30代男性）
- ・ 問4-2の5が家事育児介護が女性のものだという前提に作られているようですが、このようなアンケートでそういう設問がある時点でどうかと思われます。全体的にもっとフラットな設問でないかアンケートの意見がありません。（40代女性）
- ・ まず、男女共同参画社会についてのアンケートなのに、配偶者の就業状況の選択肢に「専業主婦」しかないのはおかしいのでは？「専業主夫」もいると思われます。設問の時点で「男は仕事、女は家庭」を押し付けている感じがしました。また、個人的な事を答えなくてはいけない問が多いように感じます。それを聞いてどうするの？というような。解答の選択肢も、微妙なニュアンスが一致せず、答えにくいものが多々ありました。施策等に関するのではなく申し訳ありませんが、答える側としての意見を書かせ

て頂きました。（30代女性）